

令和5年9月

公益社団法人熊本県畜産協会の
経営状況を説明する書類

熊 本 県

目 次

1	令和4年度事業報告	
I	地域振興に資する畜産経営体の育成・経営支援及び畜産に関する情報の提供・普及啓発の推進	1
II	国民生活の安全安心に資する家畜衛生対策の推進	9
III	国民生活の物価安定に資する畜産物価格安定対策の推進	13
IV	畜産経営の安定に資する家畜の改良・登録の推進	19
V	会員や関係団体と連携した畜産振興の推進	21
2	令和4年度決算報告	
・	貸借対照表	22
・	正味財産増減計算書	24
・	財務諸表に対する注記	28
・	財産目録	32
3	令和5年度事業計画	
I	地域振興に資する畜産経営体の育成・経営支援及び畜産に関する情報の提供・普及啓発の推進	34
II	国民生活の安全安心に資する家畜衛生対策の推進	42
III	国民生活の物価安定に資する畜産物価格安定対策の推進	46
IV	畜産経営の安定に資する家畜の改良・登録の推進	49
V	会員や関係団体と連携した畜産振興の推進	50
4	令和5年度収支予算書	
・	収支予算書	52

令和4年度事業実績

I 地域振興に資する畜産経営体の育成・経営支援及び畜産に関する情報の提供・普及啓発の推進（公益事業1）

(I) 畜産の技術指導に関する事業

1 畜産経営技術高度化推進事業（熊本県受託事業）

(1) 事業の目的

畜産経営に対する経営技術指導及び経営管理における的確な対応を効果的かつ効率的に推進することにより、本県の畜産振興に資するため、以下のとおり取り組んだ。

(2) 事業の内容

ア 専門家集団の設置

(ア) 構 成 員：熊本県、農業団体等

(イ) 畜産経営及び畜産情勢に関する調査研究、畜産経営技術改善方策及び具体的な指導手法等の検討

(ウ) 常勤専門家集団：総括畜産コンサルタント等 6人

(エ) 非常勤専門家集団：県職員、団体職員、税理士等 11人

イ 地域における相談窓口の設置

(ア) 相談窓口配置数：1か所

(イ) 相談等の内容：畜産経営技術指導、畜産コンサルタントの要請等

ウ 畜産経営に対する支援指導の実施

(ア) 経営改善等支援：経営診断改善指導、経営管理技術指導、生産技術指導等

(イ) セミナー、研修会等の開催

エ 畜産経営関係情報のホームページによる提供

(ア) アクセス件数 967,156件

オ 指導用機器・大家畜経営データベースサーバー等経営支援に活用

(ア) 機 械 名：指導用パソコン3台等

2 畜産経営技術指導事業（地方競馬全国協会補助事業）

(1) 事業の目的

県からの委託で実施する畜産経営技術高度化推進事業、県産畜産物振興の各協議会との連携及び中央団体からの畜産関連施策、地方競馬を主とする馬事振興普及啓発等の事業を推進した。

(2) 事業の内容

ア 畜産経営の支援体制強化を図るための事業の推進

イ 地域畜産の活性化、安全かつ安定的な食の提供に資するための事業の推進

ウ 馬事普及啓発の推進体制の強化

3 畜産特別資金推進指導事業（公益社団法人中央畜産会補助事業）

(1) 事業の目的

畜産経営の再建を図るため、新規の畜産特別資金借入者や既存の借入者（66戸令和4年4月1日現在）に対して、経営や生産技術の改善及び融資機関に対し経営改善計画作成指導・計画達成指導を通じ、借入対象者の経営改善安定を図った。

(2) 事業の内容

ア 県支援推進協議会の開催

熊本県畜産経営改善安定推進協議会において指導計画、借入農家の計画・実績等について会議の開催（年4回）

イ 融資機関への指導・助言

融資機関8、指導回数 年21回

ウ 経営改善計画作成・見直し及び達成指導

（単位：戸、回）

	計画作成指導	見直し計画指導	達成指導
指導戸数	3	26	6
指導回数	3	26	6

エ 借入者の経営改善のための指導資料作成

経営改善指導の手引き書 50部作成

オ その他推進事務

全国会議 年1回、ブロック会議 年1回、ヒアリング 年3回

カ 借入者の負債残高等進捗状況調査

融資機関 8、調査戸数 65戸

キ 経営改善の定期的な実績点検調査

上期・下期 年2回 点検戸数 31戸

ク 借入者への指導事項

現地指導 年1回

4 自給飼料推進事業（畜産協会事業）

自給飼料基盤の強化、生産性向上、品質向上、飼料生産の組織化、外部化及び熊本型放牧（広域、周年、水田・畑、耕作放棄地）の普及による草資源の有効利用や農地保全、景観保持を図る取組を支援した。

5 地域農場 HACCP 認証支援事業（公益社団法人中央畜産会助成事業）

(1) 事業の目的

県内の農場 HACCP 認証支援の構築、強化・維持、普及を図った。

(2) 事業の内容

ア 地域農場 HACCP 認証構築指導

県内での農場 HACCP 認定に向け、必要書類の作成や検証等のシステム運営についての助言・指導を行い、地域の中核となる農場を育成することで、地域における農場 HACCP 認証の普及を図った。

指導農場 7 農場

イ 農場 HACCP 普及推進協議会開催

農場 HACCP 認証農場関係者等を講師とした検討会を開催し普及活動に資した。

6 畜産関係団体調整機能強化事業（公益社団法人中央畜産会委託事業）

(1) 事業の目的

県内の畜産農家の支援のため、研修会の開催や窓口相談活動を実施し、本県の畜産振興に資する。

(2) 事業の内容

ア 専門家派遣の実施	0 回
イ 研修会へ開催	2 回
ウ 窓口相談活動の実施	2 カ所

(II) 畜産の経営支援に関する事業

1 肉用牛経営安定対策補完事業（地域における肉用牛生産基盤強化等対策事業）

【拡充】（独立行政法人農畜産業振興機構補助事業）

(1) 事業の目的

肉用牛の生産基盤の安定と強化を図るため、中核的な担い手の育成推進、遺伝的多様性に配慮した繁殖雌牛の導入支援、優良繁殖雌牛の導入支援、繁殖雌牛の増頭に資する簡易牛舎等の整備、高齢化等に対処する肉用牛ヘルパー組織への支援、地域の特徴ある肉用牛振興対策等を実施した。

(2) 事業の内容

ア 肉用牛生産基盤強化対策

(ア) 優良な繁殖雌牛の増頭による中核的な経営体の育成支援

増頭奨励金は、8 万円／頭と 10 万円／頭（能力の高い牛）

56 頭（4 集団、21 戸）

(イ) 遺伝的多様性に配慮した繁殖雌牛の導入に対する支援

導入奨励金は、6 万円／頭、9 万円／頭（稀少系統）

26 頭（2 集団、24 戸）

- (ウ) 地域の肉用牛改良に必要な優良繁殖雌牛の導入を支援
導入奨励金は、4万円／頭、5万円／頭（能力の高い牛）
130頭（3集団、84戸）
※ 臨時対策：年度末までに8歳以上の雌牛とう汰を行った場合、6月から12月に導入した優良繁殖雌牛について、奨励金単価を6万円／頭、9万円／頭に引き上げ。
（臨時対策の導入実績なし）
- (エ) 繁殖雌牛の増頭に資する簡易牛舎等の整備に対する支援
繁殖雌牛の増頭数に応じた簡易牛舎の整備又は増築、子牛の健康維持に資する器具機材の導入補助。
繁殖牛舎 4棟（3集団、4戸）
育成牛舎 1棟（1集団、1戸）
- (オ) 肉用牛ヘルパーの活動支援
肉用牛ヘルパー利用組合が実施する事業に要する補助
（支援組合数 3組合）
- イ 地方特定品種等の振興対策
地方特定品種の特徴を活かした生産や放牧利用等を拡大するための取組を支援した。
 - (ア) あか毛和種の振興
放牧地の利用向上に係る放牧地の整備、飼料生産、粗飼料多給のための飼料生産等の取組支援
（支援牧野組合数 11 牧野組合）

2 畜産・酪農収益力強化整備等特別対策事業（機械導入事業）

（公益社団法人中央畜産会受託事業）

- (1) 事業の目的
畜産クラスター事業のうち機械導入事業（リース方式・購入方式）に係る熊本県窓口団体として、関係する事務手続き等を行うことによって、県下各クラスター協議会計画実現と県下地域畜産振興を図った。
- (2) 事業の内容
 - ア 県下各クラスター協議会から要望書・申請書等の受理、確認送付、承認通知等事務を行った。
 - イ 業務を円滑に行うため、全国推進会議に出席し、県段階の打合せと推進会議を開催した。
 - ウ 取組主体の一部について、検収調書を基に現地調査を実施した。

3 畜産経営体生産性向上対策事業（ICT化等機械装置等導入事業）

（公益社団法人中央畜産会受託事業）

(1) 事業の目的

酪農・肉用牛経営の生産基盤の強化に資するため、ICT等の新技術を活用した省力化機器の導入を支援するとともに、スマート農業の推進及び労働時間の削減を加速化し、計画的に省力化・生産性向上を図った。

(2) 事業の内容

ア 畜産ICT応援会議から要望書・申請書等の受理、確認送付、承認通知等事務を行った。（要望数：13戸 13物件）

イ 業務を円滑に行うため、全国推進会議に出席し、県段階の打合せと推進会議を開催した。

ウ 機械装置の利用状況の確認、労働削減効果を高めるための改善指導等を行った。

エ 必要に応じて中央畜産会からの依頼による現地調査、情報収集、取組による成果等の把握を行った。

4 熊本型放牧高度化支援事業（放牧牛導入）（国・熊本県補助事業）

(1) 事業の目的

放牧管理の高度化による負担軽減と放牧牛の増頭を支援することで、阿蘇地域の牧野等の畜産的利用の拡大及び放牧を活用したあか牛等の肉用牛生産基盤の強化を図った。

(2) 事業の内容

熊本型放牧拡大のために、農協等の事業主体が放牧実施農家に貸付ける放牧牛（繁殖雌牛）の購入に要する費用の一部を助成した。

放牧牛 100 千円／頭（国 1/2、県 1/2） 41 頭（37 戸）

5 酪農労働省力化推進施設等緊急整備対策事業（楽酪GO事業）

（公益社団法人中央畜産会受託事業）

(1) 事業の目的

酪農家における労働負担軽減・省力化並びに飼養管理技術の高度化に資する機械導入を支援するとともに、当該機械装置の取得及び機械装置と一体的な施設整備、搾乳などに関する作業を複数経営の協業化により集中管理し外部化するモデル的な取組を支援するため、事業の推進を図った。

(2) 事業の内容

ア 楽酪応援会議から要望書・申請書等の受理、確認送付、承認通知等事務を行ったが、要望・申請は無かった。

イ 業務を円滑に行うため、全国推進会議に出席し、県段階の打合せと推進会議を開催した。

ウ 必要に応じて中央畜産会からの依頼による現地調査、情報収集、取組による成果等の把握を行った。

6 畜産・酪農収益力強化整備等特別対策事業（生産基盤拡大加速化事業（肉用牛）） （一般社団法人全国肉用牛振興基金協会受託事業）

(1) 事業の目的

輸出の拡大に向けて和牛の増産を推進するため、畜産クラスター計画に基づき、取組主体の構成員の優良繁殖雌牛の増頭を図った。

(2) 事業の内容

令和4年1月1日を基準とし令和4年12月31日に増頭した生後9か月齢以上の和牛繁殖雌牛で、育種価基準を満たす牛を対象として増頭奨励金の交付対象頭数を取りまとめるなど事業の推進を図った。

ア 繁殖雌牛増頭

(ア) 取組主体の構成員による繁殖雌牛の増頭及び和牛肉の増産のための「増産計画」の策定。

(イ) 増頭奨励金の交付実績

対象農家 (戸)	増頭数 (頭)	奨励金単価別頭数(頭)		増頭奨励金(円)	備 考
		24.6万円	17.5万円	実績額	
357	1,569	895	544	315,370,000	取組主体数 13団体

イ 事業推進

事業実施計画に基づき、取組主体の円滑な事業を推進した。

7 肉用牛経営安定対策補完事業

（強化哺乳技術を活用した早期出荷支援事業）【新規】

（独立行政法人農畜産業振興機構補助事業）

(1) 事業の目的

強化哺乳技術の活用等の取組を推進し、肉用子牛の発育の向上及び家畜市場への早期出荷を図った。

(2) 事業の内容

ア 早期出荷支援対策

強化哺乳技術の活用等の取組を実施した肉用子牛生産者に対して、家畜市場への出荷頭数に応じた奨励金を交付

（奨励金単価：6千円/頭） 203頭（5集団、49戸）

8 畜産経営総合緊急対策事業（肉用牛経営災害緊急支援対策事業）【新規】

（独立行政法人農畜産業振興機構補助事業）

(1) 事業の目的

災害等による停電時における家畜の生命維持に要する機械の稼動のための支援を行うことにより、畜産経営体の経営継続を目的として推進した。

(2) 事業の内容

生産者集団等が災害等による停電時における畜産経営体の経営継続のため、家畜の生命維持に要する機械の稼動のための取組の実施に要する経費への支援を予定していたが、災害等の発生及び災害時の備えとした非常用電源の導入希望は無かった。

ア 経営継続支援対策

(ア) 牛舎、飼養管理の附帯施設・機械の補改修等に要する経費

(イ) 簡易牛舎等の整備に要する経費

(ウ) 緊急避難等支援に要する経費

(エ) 繁殖に供する雌牛の導入支援に要する経費

(オ) 電力確保支援

イ 非常用電源の整備

(ア) 非常用電源の導入

(イ) リース事業者からの非常用電源の借受

(Ⅲ) 畜産に関する調査研究及び情報提供に関する事業

1 公庫資金活用推進事業（公益社団法人中央畜産会受託事業）

(1) 事業の目的

畜産農家が公庫資金を活用し、安定的な経営展開に資する。

(2) 事業の内容

公庫資金を借入した畜産経営体の中で、借入時の経営計画の達成が低い経営体について、経営課題、経営改善状況等を調査し、その改善計画の作成支援及びこれに基づく助言等を行う予定であったが、公庫からの申請がなかった。

2 貸付事業指導等事業（公益財団法人畜産近代化リース協会受託事業）

(1) 事業の目的

畜産近代化リース協会貸付事業において、貸し付けられた機械施設の適正な導入の確認と効率的な活用を図るための指導等を行い、同事業を推進した。

(2) 事業の内容

ア 貸付機械施設の確認及び管理状況についての調査 69件

イ 貸付機械施設の適正な利用についての技術指導 69件

3 畜産クラスター全国推進事業に係る実態調査事業

(公益社団法人中央畜産会受託事業)

公益社団法人中央畜産会が実施する畜産クラスター全国推進事業に資するため、本県酪農家、肉用牛繁殖農家及び肥育農家の優良事例9戸の実態調査を行い、中央畜産会に報告した。

4 家族経営における畜産DX推進事業（畜産DX技術調査分析評価事業）

(公益社団法人中央畜産会受託事業)

(1) 事業の目的

畜産経営における生産性の向上や労働力負担の軽減等に向けて、ITやAI（人工知能）技術を活用した畜産のデジタルトランスフォーメーション（畜産DX）を推進し、畜産DX技術導入の経済的効果等の評価手法を確立し、家族経営における効率的な導入のため支援を行った。

(2) 事業内容

畜産DX技術を複合的・戦略的に導入し、相互に関連付ける中で成果を挙げている畜産経営に対し、以下の調査・研究を行った。

ア 畜産経営コンサルティング

イ 労働生産性の分析

ウ 畜産物の生産性の分析

エ 経営に携わる人の心の分析

5 生産技術情報提供事業（公益社団法人中央畜産会受託事業）【新規】

家畜の生産技術指導に資する情報を整備するため、家畜の生産・出荷成績等のデータの収集及び収集したデータの分析結果に基づく助言指導を行い、中央畜産会に報告した。

(1)件数：繁殖経営20件

II 国民生活の安全安心に資する家畜衛生対策の推進（公益事業2）

（I）家畜伝染性疾病の予防接種及び予防措置に関する事業

1 家畜生産農場衛生対策事業（国補助事業）

（1）事業の目的

畜産経営に及ぼす影響が大きい家畜伝染病について、予防接種や抗体検査及び患畜同居家畜の自主とう汰への補助を実施することにより、家畜伝染病の予防、またはまん延防止を図った。

（2）事業の内容

ア ヨーネ病早期清浄化防疫推進事業

ヨーネ病自主とう汰 4頭

イ EBL対策事業

高リスク牛とう汰 0頭

ウ BVD-MD対策事業

PI牛自主とう汰 6頭

エ 地域慢性疾病対策事業

1団体

オ 疾病流行防止支援対策事業

牛異常産ワクチン接種頭数 49,761頭

2 牛疾病検査円滑化推進対策事業（国補助事業）

（1）事業の目的

BSEの発生予防と清浄化確認のため、県が実施する死亡牛BSE検査及び蛋白ミール公社での死亡牛適正処理の農家負担を補助した。

（2）事業の内容

死亡牛発生頭数と補助対象金額

（単位：頭・円）

区分	補助計画頭数	補助対象頭数	検査処理安定化対策		検査支援	合計
			輸送促進費	適正処理費	BSE検査費	
96ヶ月以上	1,000	1,011	1,659,000	7,522,500	4,549,000	13,730,500

3 熊本県自衛防疫強化総合対策事業（熊本県補助事業）

（1）事業の目的

畜産経営に及ぼす影響が大きい家畜伝染病について、予防接種を実施した。

（2）事業の内容

ア 特定疾病損耗防止推進事業 100,000頭

牛流行性感冒、牛伝染性鼻気管炎、牛アカバネ病の発生予防

4 育成馬等予防接種推進事業（公益社団法人中央畜産会補助事業）

(1) 事業の目的

馬伝染病予防のため、馬飼養農家の申請により予防接種を実施した。

(2) 事業の内容

(単位：頭)

区 分	接種頭数	備 考
1 歳馬三種基礎接種	22	2 回接種
1 歳馬三種補強接種	5	
1 歳馬インフルエンザ追加接種	2	
2 歳馬日本脳炎補強接種	5	
合 計	34	

5 馬伝染性疾病防疫推進対策事業（公益社団法人中央畜産会補助事業）

(1) 事業の目的

馬伝染病予防のため、馬飼養農家の申請により予防注射を実施した。

(2) 事業の内容

ア 馬鼻肺炎生ワクチン 36 頭

イ 馬インフルエンザ 302 頭

6 家畜自衛防疫活動支援事業（畜産協会事業）

(1) 事業の目的

各地区自衛防疫促進協議会が取り組む家畜衛生事業推進の支援を行った。

(2) 事業の内容

各地区自衛防疫促進協議会が実施する次の取組について、その事業費の 90% を支援した。（支援額上限は 70 万円）

ア 家畜衛生事業の推進に必要な防疫機器・資材等の整備

イ 家畜衛生事業に係る事務の効率化を図るための備品等の整備

ウ 協会が適当と認める取組

(Ⅱ) 畜産物の生産・衛生の指導及び調査に関する事業

1 自衛防疫推進事業（熊本県補助事業）

(1) 事業の目的

家畜自衛防疫事業について、市町村及び関係団体と連携して実施した。

(2) 事業の内容

- ア 家畜自衛防疫事業推進会議 年2回
- イ 地域推進会議 5か所（各地区家畜自衛防疫促進協議会）
- ウ 事業需要等調査、広報

2 馬飼養衛生管理特別対策事業（公益社団法人中央畜産会補助事業）

(1) 事業の目的

馬の飼養農家や指導者の衛生管理技術の向上のため、講習会や調査を行う。

(2) 事業の内容

- ア 地域馬飼養衛生管理体制整備委員会の開催 1回
- イ 馬飼養衛生管理技術講習会の開催 令和5年2月 熊本県家畜市場にて開催
- ウ 地域馬獣医療実態調査 54戸

3 家畜防疫・衛生指導対策事業（公益社団法人中央畜産会補助事業）

(1) 事業の目的

地域の自衛防疫活動強化のため、行政・関係機関と連携し、防疫演習等を実施及び事業の円滑な推進を図った。

(2) 事業の内容

- ア 生産者段階の「防疫演習」の実施支援 4か所
- イ 九州ブロック協議会での各県畜産協会と情報交換（令和4年9月に佐賀県にて開催）

(Ⅲ) 家畜伝染性疾病の予防徹底のための経営支援に関する事業

1 家畜防疫互助基金支援事業（公益社団法人中央畜産会委託事業）

(1) 事業の目的

家畜伝染病発生時の伝染病まん延防止のための家畜の淘汰とこれに伴う農家経営再建のため、農畜産業振興機構と農家が拠出した基金から、交付金を交付する事業を推進した。

(2) 事業の内容

- ア 家畜防疫互助等推進事業
 - (ア) 推進会議開催
 - (イ) 生産者等に対する事業の普及・指導・連絡調整
- イ 家畜防疫互助事業
 - (ア) 新規加入の推進（事業対象年間 令和3～5年度）

加入状況表（令和 5年 3月末現在）

家畜の種類	飼養戸数	加入戸数	加入率	積立金額(円)
乳用牛	491 戸	470 戸	96%	8,983,265
肉用牛	2,093 戸	1,863 戸	89%	21,892,040
養 豚	152 戸	99 戸	65%	41,617,130
計	延 2,736 戸	延 2,432 戸	89%	72,492,435

*飼養戸数は県畜産統計（R4・2・1）

(IV) 畜産経営の環境保全に関する事業

1 畜産環境保全指導事業（畜産協会事業）

(1) 事業の目的

畜産経営や地域の環境保全を目的として、畜産農家や関係者に対して、セミナー等を行った。

(2) 事業の内容

熊本県耕畜連携推進協議会事務局員として、以下に取り組んだ。

ア 堆肥づくりスキルアップセミナー

イ 堆肥コンクール

(V) 獣医師等の育成支援に関する事業

1 獣医師養成確保修学資金給付事業（国及び熊本県補助事業）

(1) 事業の目的

家畜伝染病の予防・まん延防止や食品衛生を担う産業動物獣医師や行政獣医師の育成を目的として、獣医学を専攻する学生に修学資金を給付した。

(2) 事業の内容

ア 産業動物獣医師及び県家畜保健衛生所等獣医師の養成

14名（継続12名 新規2名）

イ 県公衆衛生獣医師の養成

3名（継続 1名 新規2名）

Ⅲ 国民生活の物価安定に資する畜産物価格安定対策の推進（公益事業3）

（Ⅰ）肉用子牛の価格差補てんに関する事業

1 肉用子牛生産者補給金制度（業務対象年間 令和2～6年度）

（独立行政法人農畜産業振興機構及び熊本県補助事業）

（1）事業の目的

肉用子牛の価格が低迷し、保障基準価格を下回った場合に、生産者に対し生産者補給金を交付し、肉用子牛の生産の安定等を図ることを目的とした。

（2）生産者補給金交付契約締結状況

（単位：人）

経営分類	契約者区分							
	個人	農協	農協連	農事組合 法人	合名・ 合資	株式会社	有限会社	総計
繁殖	1,886	1	0	4	1	28	8	1,928
酪農	59	0	0	0	0	4	11	74
一貫	94	0	0	0	2	28	6	130
哺育	10	0	0	0	0	1	0	11
計	2,049	1	0	4	3	61	25	2,143

（3）事務委託先

21 団体（内訳：農協連合会3・総合農協8・専門農協9・その他1）

（4）契約肉用子牛個体登録頭数の内訳（令和4年）

（単位：頭）

品種区分	1-3月	4-6月	7-9月	10-12月	合計	3年 実績	前年対比 (%)
黒毛和種	6,849	6,485	6,752	6,764	26,850	25,573	105%
褐毛和種	1,091	982	1,048	1,105	4,226	4,159	102%
その他の 肉専用種	0	0	0	0	0	2	0%
乳用種	218	215	190	150	773	1,339	58%
乳交雑種	2,602	2,318	2,154	1,507	8,581	9,385	91%
計	10,760	10,000	10,144	9,526	40,430	40,458	100%

(5) 生産者積立金単価及び負担額（令和4年）

（単位：円）

品種区分	生産者負担金	生産者積立助成金		生産者積立金合計
	生産者（1/4）	機構（1/2）	県（1/4）	
黒毛和種	400	800	400	1,600
褐毛和種	1,500	3,000	1,500	6,000
その他の肉専用種	4,700	9,400	4,700	18,800
乳用種	1,700	3,400	1,700	6,800
乳交雑種	800	1,600	800	3,200

(6) 保証基準価格及び合理化目標価格

（単位：円）

区分	黒毛和種	褐毛和種	その他の肉専用種	乳用種	乳交雑種
保証基準価格	541,000	498,000	320,000	164,000	274,000
合理化目標価格	429,000	395,000	253,000	110,000	216,000

(7) 平均売買価格（令和4年）

（単位：円）

品種区分	1-3月	4-6月	7-9月	10-12月	令和5年 1-3月
黒毛和種	730,200	668,500	605,400	614,000	613,600
褐毛和種	589,500	553,100	536,800	534,100	523,500
その他の肉専用種	311,800	注 252,300			
乳用種	231,200	210,000	149,500	127,400	148,100
乳交雑種	324,400	293,300	275,400	301,400	308,200

注：「その他肉専用種」の算定期間が令和2年度から年度（4月～3月）に変更された。

(8) 生産者補給金交付状況（令和4年）

（単位：頭、円）

品種区分	1-3月	4-6月	7-9月	10-12月	合計
黒毛和種	—	—	—	—	—
褐毛和種	—	—	—	—	—
その他の肉専用種	(8,200) 1 8,200	注			(8,200) 1 8,200
乳用種	—	—	(14,500) 195 2,827,500	(36,600) 177 6,478,200	— 372 9,305,700
乳交雑種	—	—	—	—	—
計	1 8,200	—	195 2,827,500	177 6,478,200	373 9,313,900

※（）内は交付金単価、中段(計の欄の上段)は交付頭数、下段は交付金額

注：「その他肉専用種」の算定期間が令和2年度から年度（4月～3月）に変更されたため、表中では翌年1-3月期に表記する。

(9) 生産者積立金及び生産者積立準備金造成状況（令和4年）（単位：円）

区分		保証基準価格の品種区分					合計		
		黒毛和種	褐毛和種	その他肉専	乳用種	乳用交雑種			
(1) 期首残高	①生産者積立金		77,377,964	47,575,470	62,400	23,549,120	55,553,335	204,118,289	
	②生産者積立準備金		253,736,878					253,736,878	
	内訳	③生産者の負担金充充分		253,736,878					253,736,878
		④都道府県の生産者積立助成金充充分		0					0
		⑤機構の生産者積立助成金充充分		0					0
(2) 生産者積立金積立実績	⑥生産者積立金純増加額（⑨+⑫+⑬+⑭）		35,947,015	19,598,903	0	5,236,000	24,311,200	85,093,118	
	⑦生産者積立準備金からの繰入額（⑩+⑬+⑭）		7,012,985	5,757,097	0	20,400	3,148,000	15,938,482	
	⑧計		42,960,000	25,356,000	0	5,256,400	27,459,200	101,031,600	
	生産者	⑨負担金	3,727,015	581,903	0	1,293,700	3,716,800	9,319,418	
		⑩生産者積立準備金（③からの繰入金）	7,012,985	5,757,097	0	20,400	3,148,000	15,938,482	
		⑪小計	10,740,000	6,339,000	0	1,314,100	6,864,800	25,257,900	
	都道府県	⑫生産者積立助成金	10,740,000	6,339,000	0	1,314,100	6,864,800	25,257,900	
		⑬生産者積立準備金（④からの繰入金）	0	0	0	0	0	0	
		⑭小計	10,740,000	6,339,000	0	1,314,100	6,864,800	25,257,900	
	機構	⑮生産者積立助成金	21,480,000	12,678,000	0	2,628,200	13,729,600	50,515,800	
		⑯生産者積立準備金（⑤からの繰入金）	0	0	0	0	0	0	
		⑰小計	21,480,000	12,678,000	0	2,628,200	13,729,600	50,515,800	
	その他	⑱生産者積立金とすることを指定して寄付又は補助された財産	0	0	0	0	0	0	
	(3) 他の資金からの繰入状況等	⑲特別の積立金から生産者積立金へ繰入れた金額		0	0	0	0	0	0
		⑳調整積立金から生産者積立金へ繰入れた金額		0	0	0	0	0	0
㉑生産者補給金に充てるための全国協会等からの借入金額		0	0	0	0	0	0		
㉒生産者積立金に係る運用果実		1,548	950	0	474	1,116	4,088		
㉓他資金から生産者積立金への繰入額		0	0	0	0	0	0		
㉔生産者補給交付額（㉑を含む）		0	0	0	0	0	0		
㉕生産者積立金からの借入金返済額		0	0	0	0	0	0		
㉖他の資金からの繰入れによる借入金返済額		0	0	0	0	0	0		
㉗生産者積立金から生産者積立準備金への繰入額		0	0	0	0	0	0		
㉘生産者積立準備金に係る運用果実		4,699					4,699		
㉙生産者積立準備金から償還円滑化積立金への繰入額		0					0		
㉚生産者積立準備金からの返還額（生産者分）		11,542,869					11,542,869		
㉛生産者積立準備金からの返還額（都道府県分）		0					0		
㉜生産者積立準備金からの返還額（機構分）		0					0		
(4) 期末残高	㉝生産者積立金（①+⑧+⑨+⑫+⑭+⑯+⑰+⑱+㉒+㉔+㉕+㉖+㉗+㉘+㉙+㉚+㉛+㉜）		120,339,512	72,932,420	62,400	28,805,994	83,013,651	305,153,977	
	㉞生産者積立準備金（②+⑦+⑩+⑬+⑭+⑯+⑰+⑱+㉒+㉔+㉕+㉖+㉗+㉘+㉙+㉚+㉛+㉜）		226,260,226					226,260,226	
	内訳	㉟生産者の負担金充充分		226,260,226					226,260,226
		㊱都道府県の生産者積立助成金充充分		0					0
㊲機構の生産者積立助成金充充分		0					0		

2 肉用子牛生産者補給金制度運営体制整備強化事業

(独立行政法人農畜産業振興機構補助事業)

(1) 事業の目的

肉用子牛生産者補給金制度に係る業務の適切、かつ円滑な実施体制の確保及び肉用子牛生産者補給金の交付事務処理の高度化を推進した。

(2) 事業の内容

ア 肉用子牛生産者補給金制度運営適正化事業

肉用子牛生産者補給金制度運営適正化のために次の項目の充実を図った。

(ア) 肉用子牛の個体識別と個体登録

(イ) 肉用子牛の販売、保留及び異動確認

(ウ) 家畜市場データの収集、整理、送信、集計、分析

(エ) 電算処理システムの整備

(オ) 業務推進会議の開催

(カ) 現地調査指導など

イ 指定協会運営体制支援事業

肉用子牛生産者補給金制度の円滑な実施体制の確保と協会の運営基盤の強化を図り、補給金制度の円滑な運営に努めた。

ウ 肉用子牛の取引状況の調査報告

指定肉用子牛の取引結果を算出するため、県内指定市場を対象に出荷子牛の日齢、体重及び取引価格等について調査し、その結果を農畜産業振興機構に報告した。

また、電算処理による分析に基づき「熊本県の肉用子牛市場調査」として取りまとめ、関係機関及び団体等に配布した。

本県の指定家畜市場 3ヶ所（熊本県・球磨・天草）

3 優良肉用子牛生産推進緊急対策事業【新規】

(独立行政法人農畜産業振興機構補助事業)

(1) 事業の目的

令和4年5月において黒毛和種子牛価格が下落するなど肉用子牛の価格が短期間で大幅に下落し、最近の肉用子牛生産者の経営環境が急激に悪化しており、生産意欲の低下による肉用牛生産基盤の弱体化が懸念される。そこで、畜舎の環境改善や疾病の防止等の経営改善に取り組む肉用子牛生産者や産地強化に取り組む和子牛生産者に対し、奨励金を交付することとし、肉用牛生産基盤の安定を図った。

(2) 事業参加者数

経営改善推進対策	和子牛産地強化推進対策
1,814	1,250

(3) 奨励金の発動実績（令和4年6月～12月までの期間）

品種区分	経営改善推進対策		和子牛産地強化推進対策	
	交付対象頭数 (頭)	交付金額 (円)	交付対象頭数 (頭)	交付金額 (円)
黒毛和種	3,174	31,740,000	3,109	31,090,000
褐毛和種	787	13,350,000	739	7,390,000
その他の 肉専用種	0	0	0	0
乳用種	241	7,230,000		
交雑種	—	—		
合計	4,202	52,320,000	3,848	38,480,000

4 和子牛生産者臨時経営支援事業【新規】

(独立行政法人農畜産業振興機構補助事業)

(1) 事業の目的

肉用牛繁殖経営は、子牛出荷までの生産期間が長いため、資本回転率が低く多額の運転資金を必要とし、子牛価格の変動の影響を受けやすいという特徴を有している。令和4年5月に急落した子牛価格は回復傾向にあるものの、価格が堅調に推移するまでの間、和子牛生産者のセーフティーネットとして、肉用子牛生産基盤の安定を図った。

(2) 事業内容

肉用子牛生産者補給金制度の事務委託先を介して、同制度契約生産者に当該事業を推進し、参加申込書1,783件の取りまとめを行った。

(II) 肉用牛肥育経営の所得補てんに関する事業

1 肉用牛肥育経営安定交付金制度（事業対象期間：令和4年度～令和6年度）

(独立行政法人農畜産業振興機構受託事業)

(1) 肉用牛肥育経営安定交付金制度業務

ア 事業の目的

肉用牛肥育経営安定交付金制度に係る業務の円滑な実施を図るため、機構から事務を受託し、制度の普及及び交付に係る申請事務等の業務を実施した。

イ 令和4年度の実績

(ア) 契約者数： 277戸

(イ) 個体登録頭数

(単位:頭)

品種区分	肉専用種	交雑種	乳用種	計
頭数	21,860頭	11,404頭	1,043頭	34,307頭

(2) 肉用牛肥育経営安定制度

ア 事業の目的

交付契約を締結した生産者に対して、肥育牛補填金の交付に要する資金として、肥育安定基金を造成し、標準的販売価格が標準的生産費を下回った場合、差額の9割を機構の交付金と併せて交付した。

イ 令和4年度の契約肥育牛1頭当たりの生産者負担金の単価（熊本県）

肉専用種	交雑種	乳用種
17,000円	19,000円	19,000円

IV 畜産経営の安定に資する家畜の改良・登録の推進（その他事業1）

（I）登録事業

1 黒毛和種、褐毛和種、種豚、農用馬の登記・登録

登記・登録は、家畜の改良増殖の基礎であり、関係機関の協力を得て、その必要性を周知徹底し推進に努めた。また、体型・肉質の優れた系統の選抜並びに増頭に取り組むとともに、下記のとおり登記・登録を行った。

黒毛和種 (単位：人、頭)

登記・登録の種類	令和3年度	令和4年度	対前年比 (%)
会 員	1,686	1,628	96.6
高等登録	38	52	136.8
本原登録	1,282	1,304	101.7
基本登録	3,241	3,103	95.7
子牛登記	24,192	27,018	111.7

褐毛和種 (単位：人、頭)

登記・登録の種類	令和3年度	令和4年度	対前年比 (%)
会 員	722	692	95.8
育種高等登録	5	6	120.0
産肉登録	2	3	150.0
繁殖登録	904	884	97.8
子牛登記	4,269	4,696	110.0

種 豚 (単位：頭)

登記・登録の種類	令和3年度	令和4年度	対前年比 (%)
種豚登録	428	581	135.7
子豚登記	467	990	212
交雑証明	80	20	25

農用馬 (単位：頭)

登記・登録の種類	令和3年度	令和4年度	対前年比 (%)
繁殖登録	40	44	110
血統登記	105	141	134.3

※黒毛和種については、公益社団法人全国和牛登録協会熊本県支部、褐毛和種については、一般社団法人日本あか牛登録協会の事業として実施した。

(II) 改良事業

1 改良推進事業

国・県並びに県連等が推進する改良増殖諸事業に積極的に参画し、本県家畜の改良増殖の促進に努めた。

2 養豚振興事業

登録事業を推進し、種豚の能力向上や維持確保に努めた。

3 農用馬振興事業

農用馬の生産率向上を図るため種雄馬管理指導を行うとともに、人工授精利用等繁殖技術の向上に努めた。

4 集団活動への支援

各地域における改良組合、グループ活動に対して協力した。

5 共進会、品評会

県内で開催される各種共進会、品評会の上位入賞家畜を表彰し、会員の改良意欲の高揚に努めた。

6 第12回全国和牛能力共進会への対応

令和4年10月6～10日に鹿児島県で開催された第12回全国和牛能力共進会に熊本県代表牛として種牛7頭、肉牛4頭を出品した。結果としては健闘したものの上位の成績を収めることはできなかった。

出品区	代表牛					
	名号	血統	飼養地	受賞	<参考>	
		父				
種牛	第1区	多恵福重	美津福重	(生産地) 天草市	1等賞5席	20位/21頭中
	第2区	ひまわり	美津福重	苓北町	1等賞2席	19位/33頭中
	第3区	つるしげ3	美津福重	大津町	2等賞	28～32位/32頭中
	第5区	ふくひかり3	百合茂	錦町	1等賞2席	12位/16組中
		ふく	安福久			
	ふくひめ	美国桜				
肉牛	第7区	勝196	美津福重	菊池市	優等賞 11席	11位/21組中
		竜3の6	美津福重	大津町		
		君子	美津福重	天草市		
	第8区	福2の142	久茂国	あさぎり町	1等賞	30～46位/58頭中
特別区	まり	美津福重	熊本市	優等賞 21席	21位/24頭中	

V 会員や関係団体と連携した畜産振興の推進（その他事業2）

各種協議会の事務局並びにイベントへの職員派遣や、行政と団体間との調整役を果たすこと等により、県畜産の生産振興や県産畜産物のPRと消費拡大に寄与する。

(I) 熊本県産牛肉消費拡大推進協議会事業

(熊本県産牛肉消費拡大推進協議会受託事業)

熊本県産牛肉消費拡大推進協議会の事務局事務を実施した。

※熊本県産牛肉消費拡大推進協議会

目 的：県内畜産関係団体の相互協調により、熊本県産牛肉の流通・消費拡大を図り、熊本県畜産の安定的発展に寄与した。

会 員：熊本県、県経済連、県畜連、県酪連、県食肉事業連

肥後開拓農協、畜産流通センター、県農協中央会、県畜産協会

(II) 熊本県養豚協会事業（熊本県養豚協会受託事業）

熊本県養豚協会の事務局事務を実施した。

※熊本県養豚協会

正会員：県内養豚農家等 67 会員

賛助会員：養豚関係団体等 64 会員

役 員：石淵大和会長以下、理事12名、監事2名

事 業：養豚経営の調査研究及び講習会等

養豚の情報収集及び提供

関係機関、団体との連絡協調

(III) 馬事畜産振興推進事業

佐賀競馬場に於いて、冠レースを実施し賞状・副賞を授与した。また、同競馬場に於いて、厳しい経営環境にある酪農経営を支援するため、生乳消費拡大推進施策「地方競馬ミルクウィーク」を九州・沖縄の畜産協会と連携して開催し、牛乳・乳製品の消費拡大に資した。

熊本県内では、BA00 荒尾に於いて、畜産フェアを開催し入場者の増加と畜産振興に資した。

貸借対照表

令和 05年03月31日 現在

公益社団法人 熊本県畜産協会
全会計

(単位：円)

科 目	当 年 度	前 年 度	増 減
I 資産の部			
1. 流動資産			
現金預金			
普通預金	111,709,455	134,394,270	△ 22,684,815
定期預金	2,000,000	2,000,000	
雑資産			
未収金	148,846,088	143,812,985	5,033,103
立替金	317,130	372,240	△ 55,110
流動資産合計	262,872,673	280,579,495	△ 17,706,822
2. 固定資産			
(1) 基本財産			
基本財産合計	0	0	0
(2) 特定資産			
退職給付引当資産	24,388,453	20,365,041	4,023,412
減価償却引当資産	13,449,577	13,449,577	
ソフトウェア更新資産	7,576,000	10,326,000	△ 2,750,000
生産者積立資産	305,153,977	204,118,289	101,035,688
生産者積立準備資産	226,260,226	253,736,878	△ 27,476,652
特別の積立資産	1,140,214,903	1,140,192,112	22,791
償還円滑化積立資産	44,184,962	44,184,080	882
家畜防疫事業運営特別資産	8,906,190	8,906,013	177
肥育牛交付制度基金資産	685,406,541	429,213,709	256,192,832
預かり寄託金資産	389,130,000	389,130,000	
特定資産合計	2,844,670,829	2,513,621,699	331,049,130
(3) その他固定資産			
什器備品	10,302,268	10,302,268	
ソフトウェア	5,793,862	7,320,654	△ 1,526,792
長期預け金	9,200,000	9,200,000	
中央畜産会預け金	900,000	900,000	
長期未収金	23,161,359	23,761,359	△ 600,000
貸倒引当金(△)	21,361,359	21,361,359	
什器備品減価償却累計額(△)	8,901,286	7,582,676	1,318,610
その他固定資産合計	19,094,844	22,540,246	△ 3,445,402
固定資産合計	2,863,765,673	2,536,161,945	327,603,728
資産合計	3,126,638,346	2,816,741,440	309,896,906
II 負債の部			
1. 流動負債			
雑負債			
未払金	111,250,163	142,638,891	△ 31,388,728
預り金	1,185,288	1,119,901	65,387
仮受金	14,706,633	14,626,490	80,143
賞与引当金	11,328,932	12,263,580	△ 934,648
未払消費税	4,911,100	2,240,600	2,670,500
流動負債合計	143,382,116	172,889,462	△ 29,507,346
2. 固定負債			
基金			
生産者積立金			
準備積立金			
退職給付引当金	24,388,453	20,365,041	4,023,412
預かり寄託金	389,130,000	389,130,000	
熊本県	160,000,000	160,000,000	
市町村	22,940,000	22,940,000	
農協及び関係団体	206,190,000	206,190,000	
固定負債合計	413,518,453	409,495,041	4,023,412
負債合計	556,900,569	582,384,503	△ 25,483,934

貸借対照表

令和 05年03月31日 現在

公益社団法人 熊本県畜産協会
全会計

(単位：円)

科 目	当 年 度	前 年 度	増 減
Ⅲ 正 味 財 産 の 部			
1. 指 定 正 味 財 産			
指定正味財産合計	2,401,220,609	2,071,445,068	329,775,541
(うち基本財産への充当額)	(0)	(0)	(0)
(うち特定資産への充当額)	(2,401,220,609)	(2,071,445,068)	(329,775,541)
2. 一 般 正 味 財 産	168,517,168	162,911,869	5,605,299
(うち基本財産への充当額)	(0)	(0)	(0)
(うち特定資産への充当額)	(29,931,767)	(32,681,590)	(△ 2,749,823)
正 味 財 産 合 計	2,569,737,777	2,234,356,937	335,380,840
負 債 及 び 正 味 財 産 合 計	3,126,638,346	2,816,741,440	309,896,906

正味財産増減計算書

令和 04年04月01日から 令和 05年03月31日まで

公益社団法人 熊本県畜産協会
全会計

(単位：円)

科 目	当 年 度	前 年 度	増 減
I 一般正味財産増減の部			
1. 経常増減の部			
(1) 経常収益			
特定資産運用益(計)	107,009	89,212	17,797
特定資産受取利息	876	1,448	△ 572
預かり寄託金運用利息	106,133	87,764	18,369
受取会費(計)	10,784,000	10,784,000	
正会員受取会費	10,784,000	10,784,000	
事業収益(計)	257,807,005	256,195,264	1,611,741
受取生産者補給金事務負担金	12,129,000	12,137,400	△ 8,400
受取予防接種負担金	226,048,095	220,182,606	5,865,489
受取種豚事業収益	1,550,780	977,680	573,100
受取改良事業収益・証明料	741,580	865,820	△ 124,240
受取肉用牛肥育経営安定事務負担	13,374,514	16,174,720	△ 2,800,206
受取農用馬事業収益	60,050	54,500	5,550
受取事務負担金	3,902,986	5,802,538	△ 1,899,552
受取補助金(計)	750,809,548	815,720,117	△ 64,910,569
国受取補助金(計)	43,549,386	41,441,194	2,108,192
受取家畜生産農場衛生対策事業	13,139,878	13,413,209	△ 273,331
受取牛疾病検査円滑化推進対策事業	16,944,463	16,138,500	805,963
受取獣医師養成修学資金貸与(国)	13,465,045	11,889,485	1,575,560
機構受取補助金(計)	652,050,649	337,606,719	314,443,930
受取機構生産者補給交付金	9,313,900	68,100	9,245,800
受取補給金運営適正事業補助金	25,129,885	24,894,624	235,261
受取運営体制支援事業補助金	15,770,652	17,010,482	△ 1,239,830
受取肉用牛経営安定対策補完事業	47,801,725	48,177,491	△ 375,766
受取強化哺乳活用早期出荷事業	1,360,607		1,360,607
受取優良肉用子牛生産推進等事業	93,811,221		93,811,221
受取和子牛生産者臨時経営支援	1,082,109		1,082,109
受取機構肥育牛交付制度交付金	457,780,550	232,422,754	225,357,796
受取肉用牛経営災害緊急支援対策		1,226,782	△ 1,226,782
受取肉用子牛流通円滑事業補助金		13,806,486	△ 13,806,486
熊本県補助事業(計)	27,752,073	102,172,000	△ 74,419,927
受取自衛防疫推進費	544,000	544,000	
受取自衛防疫強化総合対策事業		288,000	△ 288,000
受取特定疾病損耗防止推進事業	3,600,000	3,600,000	
受取獣医師養成学資金貸与(県)	19,310,000	15,740,000	3,570,000
受取熊本型放牧支援事業補助金	4,298,073	4,500,000	△ 201,927
受取県産和牛肥育農家支援事業		77,500,000	△ 77,500,000
中央畜産会(計)	10,182,040	321,650,524	△ 311,468,484
受取畜産特別資金推進指導事業	4,123,912	4,069,081	54,831
受取育成馬予防接種推進事業費	213,000	187,103	25,897
受取馬飼養衛生管理特別対策事業	494,765	428,764	66,001
受取馬伝染性疾病防疫対策事業	1,371,841	1,221,093	150,748
受取家畜防疫・衛生指導対策事業	1,645,722	1,565,998	79,724
受取地域農場HACCP認証支援事業	2,332,800	2,198,485	134,315
受取肥育生産支援事業奨励金		191,460,000	△ 191,460,000
受取肥育牛経営等緊急支援奨励金		120,520,000	△ 120,520,000
地方競馬全国協会(計)	16,924,000	12,604,000	4,320,000
受取畜産経営技術指導事業	16,924,000	12,604,000	4,320,000
日本馬事協会(計)	351,400	245,680	105,720
受取日本馬事協会	351,400	245,680	105,720
受託事業収益(計)	87,301,836	88,237,048	△ 935,212
機構受託事業(計)	15,210,513	15,539,843	△ 329,330
受取肉用牛肥育経営安交付金制度	15,210,513	15,539,843	△ 329,330

正味財産増減計算書

令和 04年04月01日から 令和 05年03月31日まで

公益社団法人 熊本県畜産協会
全会計

(単位：円)

科 目	当 年 度	前 年 度	増 減
全国肉用牛振興基金協会受託事業 (計)	3,719,549	3,579,790	139,759
受取生産基盤拡大加速化事業委託	3,719,549	3,579,790	139,759
熊本県受託事業 (計)	5,830,000	10,478,931	△ 4,648,931
受取畜産経営技術高度化推進事業	5,830,000	6,460,000	△ 630,000
受取持続的生産強化対策事業		525,000	△ 525,000
受取阿蘇草原復興支援事業		3,493,931	△ 3,493,931
中央畜産会 (計)	20,765,980	22,849,022	△ 2,083,042
受取労働負担軽減事業(楽酪GO)	486,238	474,076	12,162
受取畜産関係団体機能強化事業	2,400,000	1,611,000	789,000
受取畜産ｸﾞﾙｰﾌﾟ実態調査事業	720,000	800,000	△ 80,000
受取畜産ｸﾞﾙｰﾌﾟ機械導入事業	9,201,305	8,049,731	1,151,574
受取家畜生産性向上対策事業		1,428,907	△ 1,428,907
受取生産技術情報提供事業	1,726,000		1,726,000
受取畜産ICT事業	910,402	913,744	△ 3,342
受取畜産DX推進事業	2,135,201	2,091,299	43,902
受取肥育生産支援事業		2,117,000	△ 2,117,000
受取肥育牛経営緊急支援特別対策	2,554,934	2,554,934	△ 2,554,934
受取家畜防疫互助推進事業	3,186,834	2,808,331	378,503
日本あか牛登録協会 (計)	2,915,016	2,911,887	3,129
受取日本あか牛登録事務委託費	2,915,016	2,911,887	3,129
日本あか牛登録協会熊本県支部 (計)	6,716,966	6,260,133	456,833
受取日本あか牛登録県支事委託費	6,716,966	6,260,133	456,833
全国和牛登録協会熊本県支部 (計)	29,763,812	24,719,442	5,044,370
受取全国和牛登録県支部委託費	29,763,812	24,719,442	5,044,370
馬事畜産振興協議会 (計)	480,000	276,000	204,000
受取馬事畜産振興推進事業	480,000	276,000	204,000
畜産近代化リース協会 (計)	1,900,000	1,622,000	278,000
受取貸付事業指導等事業	1,900,000	1,622,000	278,000
その他事業収入 (計)	1,394,076	1,406,314	△ 12,238
受取県産牛肉消費拡大推進協議会	722,000	722,000	
受取熊本県養豚協会事務費	672,076	684,314	△ 12,238
受取積立金 (計)	152,477,683	12,495,331	139,982,352
受取積立金振替額	152,477,683	12,495,331	139,982,352
雑 収 益 (計)	2,464,764	1,376,515	1,088,249
受 取 利 息	976,372	935,391	40,981
雑 収 益	1,488,392	441,124	1,047,268
経 常 収 益 計	1,263,145,921	1,186,303,801	76,842,120
(2)経 常 費 用			
事 業 費 (計)	1,252,328,883	1,178,802,044	73,526,839
支 払 補 て ん 金	619,572,133	244,986,185	374,585,948
支 払 助 成 金	216,272,114	522,384,680	△ 306,112,566
役 員 報 酬	3,936,395	3,477,318	459,077
給 料 手 当	123,111,826	124,220,672	△ 1,108,846
臨 時 雇 賃 金	6,859,933	2,334,946	4,524,987
退 職 給 付 費 用	3,757,672	3,887,166	△ 129,494
福 利 厚 生 費	21,481,892	20,553,655	928,237
会 議 費	511,866	131,624	380,242
旅 費 交 通 費	3,824,327	3,120,527	703,800
通 信 運 搬 費	2,792,472	2,956,834	△ 164,362
減 価 償 却 費	2,507,757	1,317,759	1,189,998
消 耗 品 費	133,498,686	140,362,974	△ 6,864,288
修 繕 費		125,400	△ 125,400

正味財産増減計算書

令和 04年04月01日から 令和 05年03月31日まで

公益社団法人 熊本県畜産協会
全会計

(単位：円)

科 目	当 年 度	前 年 度	増 減
印刷製本費	2,179,249	1,662,541	516,708
図書資料費	25,870	27,270	△ 1,400
燃料費		205,744	△ 205,744
車輻費	67,780	339,710	△ 271,930
光熱水料費	239,046	167,463	71,583
賃借料	9,040,578	7,954,776	1,085,802
諸謝金	516,050	423,800	92,250
租税公課	12,425,584	9,920,300	2,505,284
支払負担金	1,597,830	1,478,100	119,730
役務費	1,598,885	1,712,035	△ 113,150
厚生費	46,761	68,135	△ 21,374
報償費	172,115	98,143	73,972
送金手数料	468,868	368,755	100,113
広報費	464,365	259,072	205,293
雑費	436,985	691,709	△ 254,724
検査費	1,771,764	2,085,286	△ 313,522
技術料	77,244,270	77,064,705	179,565
委託費	5,905,810	4,414,760	1,491,050
管 理 費(計)	5,014,354	7,679,961	△ 2,665,607
人 件 費(計)	1,877,017	4,705,204	△ 2,828,187
役員報酬	101,600	46,674	54,926
給料手当	806,356	3,121,516	△ 2,315,160
賞与引当金繰入額	387,483	367,002	20,481
退職給付費用	265,740	247,768	17,972
福利厚生費	315,838	922,244	△ 606,406
会 議 費(計)	30,641	23,254	7,387
会 議 費	30,641	23,254	7,387
事 務 費(計)	1,080,491	806,393	274,098
旅費交通費	538,176	347,705	190,471
通信運搬費	191,942	82,438	109,504
什器備品減価償却費	337,645	337,646	△ 1
消耗品費	12,728	38,604	△ 25,876
そ の 他 経 費(計)	2,026,205	2,145,110	△ 118,905
印刷製本費	80,521	89,195	△ 8,674
図書資料費	53,396	54,836	△ 1,440
光熱水料費	240,967	168,083	72,884
賃借料	794,025	863,229	△ 69,204
諸謝金	243,750	213,750	30,000
租税公課	39,631	1,600	38,031
支払負担金	65,532	262,432	△ 196,900
役務費	156,675	146,775	9,900
厚生費	144,107	143,426	681
交際渉外費	11,250		11,250
送金手数料	37,400	49,225	△ 11,825
雑費	158,951	152,559	6,392
経常費用計	1,257,343,237	1,186,482,005	70,861,232
評価損益等調整前当期経常増減額	5,802,684	△ 178,204	5,980,888
当期経常増減額	5,802,684	△ 178,204	5,980,888
2.経常外増減の部			
(1)経常外収益			
受取返還金(計)	250,000	207,815	42,185
受取返還金	250,000	207,815	42,185
受取積立金振替額(計)	435,180,491	16,964,696	418,215,795
受取積立金振替額	435,180,491	16,964,696	418,215,795

正味財産増減計算書

令和 04年04月01日から 令和 05年03月31日まで

公益社団法人 熊本県畜産協会
全会計

(単位：円)

科 目	当 年 度	前 年 度	増 減
経常外収益計	435,430,491	17,172,511	418,257,980
(2)経常外費用			
その他の経費(計)	197,385	81,000	116,385
租 税 公 課	197,385	81,000	116,385
支 払 返 戻 金(計)	435,430,491	17,172,911	418,257,580
支払積立準備金返還金	11,542,869	16,964,696	△ 5,421,827
支払補助金返還金	250,000	208,215	41,785
支払生産者肥育牛交付制度返戻金	423,637,622		423,637,622
経常外費用計	435,627,876	17,253,911	418,373,965
当期経常外増減額	△ 197,385	△ 81,400	△ 115,985
他会計振替前当期一般正味財産増減額	5,605,299	△ 259,604	5,864,903
他会計振替額	0	0	0
当期一般正味財産増減額	5,605,299	△ 259,604	5,864,903
一般正味財産期首残高	162,911,869	163,171,473	△ 259,604
一般正味財産期末残高	168,517,168	162,911,869	5,605,299
II 指定正味財産増減の部			
受取補助金(計)	75,773,700	78,784,200	△ 3,010,500
受取機構生産者積立金補助金	50,515,800	52,522,800	△ 2,007,000
受取県生産者積立金補助金	25,257,900	26,261,400	△ 1,003,500
受取積立金(計)	841,622,418	238,612,279	603,010,139
受取生産者積立金	9,319,418	9,510,279	△ 190,861
受取肥育牛交付制度生産者負担金	832,303,000	229,102,000	603,201,000
特定資産運用益(計)	37,597	35,671	1,926
特定資産受取利息	32,016	28,204	3,812
生産者受取利息	5,581	7,467	△ 1,886
一般正味財産への振替額(計)	△ 587,658,174	△ 29,460,027	△ 558,198,147
一般正味財産への振替額	△ 587,658,174	△ 29,460,027	△ 558,198,147
当期指定正味財産増減額	329,775,541	287,972,123	41,803,418
指定正味財産期首残高	2,071,445,068	1,783,472,945	287,972,123
指定正味財産期末残高	2,401,220,609	2,071,445,068	329,775,541
III 正味財産期末残高	2,569,737,777	2,234,356,937	335,380,840

財務諸表に対する注記

1. 重要な会計方針

(1) 有価証券の評価基準及び評価方法

満期保有目的の債券 … 取得原価によって計上している。なお、取得価額と債券金額との差額について重要性が乏しいため償却原価法は採用していない。

(2) 棚卸資産の評価基準及び評価方法

該当なし

(3) 固定資産の減価償却の方法

什器備品 … 定額法による減価償却を実施

ソフトウェア … 直接法による減価償却を実施

(4) 引当金の計上基準

退職給付引当金 … 職員の退職給付に備えるため、期末退職給付の要支給額に相当する金額を計上している。

賞与引当金 … 職員に対する賞与の支給に備えるため、当期に帰属する期間の支給見込み額を計上している。

貸倒引当金 … 長期未収金に係る引当金

(5) 消費税等の会計処理

消費税等の会計処理は、税込方式による。

2. 会計方針の変更 なし

3. 特定資産の増減額及びその残高

特定資産の増減額及びその残高は、次のとおりである。

(単位：円)

科 目	前期末残高	当期増加額	当期減少額	当期末残高
特定資産				
退職給付引当資産	20,365,041	4,023,412	0	24,388,453
減価償却引当資産	13,449,577	0	0	13,449,577
ソフトウェア更新資産	10,326,000	0	2,750,000	7,576,000
生産者積立資産	204,118,289	101,035,688	0	305,153,977
生産者積立準備資産	253,736,878	4,699	27,481,351	226,260,226
特別の積立資産	1,140,192,112	22,791	0	1,140,214,903
償還円滑化積立資産	44,184,080	882	0	44,184,962
家畜防疫事業運営資産	8,906,013	177	0	8,906,190
肥育牛交付制度基金資産	429,213,709	832,308,137	576,115,305	685,406,541
預り寄託金資産	389,130,000	0	0	389,130,000
合 計	2,513,621,699	937,395,786	606,346,656	2,844,670,829

4. 特定資産の財源等の内訳

特定資産の財源等の内訳は、次のとおりである。

(単位：円)

科 目	当期末残高	(うち指定正味財産 からの充当額)	(うち一般正味財産 からの充当額)	(うち負債に対応 する額)
特定資産				
退職給付引当資産	24,388,453	(0)	(0)	(24,388,453)
減価償却引当資産	13,449,577	(0)	(13,449,577)	(0)
ソフトウェア更新資産	7,576,000	(0)	(7,576,000)	(0)
生産者積立資産	305,153,977	(305,153,977)	(0)	(0)
生産者積立準備資産	226,260,226	(226,260,226)	(0)	(0)
特別の積立資産	1,140,214,903	(1,140,214,903)	(0)	(0)
償還円滑化積立資産	44,184,962	(44,184,962)	(0)	(0)
家畜防疫事業運営資産	8,906,190	(0)	(8,906,190)	(0)
肥育牛交付制度基金資産	685,406,541	(685,406,541)	(0)	(0)
預り寄託金資産	389,130,000	(0)	(0)	(389,130,000)
合 計	2,844,670,829	(2,401,220,609)	(29,931,767)	(413,518,453)

5. 担保に供している資産

該当なし

6. 固定資産の取得価額、減価償却累計額及び当期末残高
 固定資産の取得価額、減価償却累計額及び当期末残高は、次のとおりである。

(単位：円)

科 目	取得価額	減価償却累計額	当期末残高
什器備品			
電算機一式 畜産協会クライアント	302,400	302,399	1
電算機一式 NEC HS550BAS	187,812	187,811	1
電算機一式 畜産協会クライアント	1,058,400	948,148	11,252
電算機一式 畜産協会クライアント	297,656	229,444	68,212
電算機一式 畜産協会クライアント	2,122,344	1,635,984	486,360
電算機一式 NEC VKT16M3G63N6	286,000	190,671	95,329
電算機一式 NEC MRT29LZ7AS3	319,000	119,625	199,375
サーバー BUFFALO WS-WV4.0	2,980,800	2,980,799	1
サーバー NEC iStorageNS	788,400	788,399	1
PC周辺機器	572,000	238,337	333,663
移動棚 KSCJ 371-257WMR	1,064,100	1,064,099	1
耐火金庫 KMX-50SDA	323,356	215,570	107,786
小 計	10,302,268	8,901,286	1,301,982
ソフトウェア	取得価額	減価償却費	当期末残高
肉用牛情報データベース	7,320,654	1,526,792	5,793,862
小 計	7,320,654	1,526,792	5,793,862

7. 保証債務等 該当なし

8. 満期保有目的の債権の内訳並びに帳簿価額、時価及び評価損益
 満期保有目的の債権の内訳並びに帳簿価額、時価及び評価損益は、次のとおりである。

(単位：円)

科目	帳簿価額	時 価	評価損益
農 林 債 券			
第820回い号 利付農林債券	10,000,000	10,001,440	1,440
熊本県公募公債			
令和4年度第2回公募公債	100,000,000	99,614,700	△ 385,300
合 計	110,000,000	109,616,140	△ 383,860

9. 補助金等の内訳並びに交付者、当期の増減額及び残高

補助金等の内訳並びに交付者、当期の増減額及び残高は、次のとおりである。

(単位：円)

補助金等の名称	交付者	前期末残高	当期増加額	当期減少額	当期末残高	貸借対照表上の記載区分
助成金						
機構生産者積立金補助金	機 構	102,058,100	50,515,800	0	152,573,900	指定正味財産
県生産者積立金補助金	熊 本 県	51,029,050	25,257,900	0	76,286,950	指定正味財産
計		153,087,150	75,773,700	0	228,860,850	
合 計		153,087,150	75,773,700	0	228,860,850	

10. 指定正味財産から一般正味財産への振替額の内訳

指定正味財産から一般正味財産への振替額の内訳は、次のとおりである。

(単位：円)

内 容	金 額	備 考
経常収益への振替額		
肥育牛交付制度の交付に係る振替額	152,477,683	
経常外収益への振替額		
生産者積立準備金返還に係る振替額	11,542,869	
肥育牛交付制度に係る返戻金振替額	423,637,622	
合 計	587,658,174	

11. 関連当事者との取引の内容 該当なし

12. 重要な後発事象 該当なし

財 産 目 録

令和5年3月31日現在

公益社団法人熊本県畜産協会

(単位：円)

貸借対照表科目	場所・物量等	使用目的等	金額	
(流動資産)	現金預金 普通預金	肥後銀行秋津支店	運転資金として	40,281,507
		肥後銀行上通支店	運転資金として	23,240,174
	熊本市農協中央支店	運転資金として	33,481,141	
	熊本市農協中央支店	肉用子牛事業生産者積立金仮受金等として	14,654,133	
	熊本市農協中央支店	マルキン	52,500	
	定期預金	肥後銀行秋津支店	運転資金として	2,000,000
	未収金		補助事業等に係る精算額	148,846,088
	立替金		家畜改良事業に係る遺伝子検査料・子豚登記料等	317,130
	仮払金		管理費等に係る経費	0
	流動資産合計			262,872,673
(固定資産)	特定資産	< 定期預金 >		24,388,453
		熊本市農協中央支店	職員10名に対する退職金の支払いに備えた資産	24,388,453
		< 定期預金 >		13,449,577
		熊本市農協中央支店	公3事業に係る資産取得資産であり、公1と管理運用業務と共有している。	13,449,577
		< 定期預金 >		7,576,000
		熊本市農協中央支店	公3事業に係る資産取得資産	7,576,000
		< 定期預金 >		305,153,977
		熊本市農協中央支店	肉用子牛運営適正化事業の公益目的財産であり、運用益は資産に繰り入れる。	305,153,977
		< 定期預金 >		226,260,226
		熊本市農協中央支店	肉用子牛運営適正化事業の公益目的財産であり、運用益は資産に繰り入れる。	226,260,226
< 定期預金 >		1,140,214,903		
熊本市農協中央支店	肉用子牛運営適正化事業の公益目的財産であり、運用益は資産に繰り入れる。	1,140,214,903		
< 定期預金 >		44,184,962		
熊本市農協中央支店	肉用子牛運営適正化事業の公益目的財産であり、運用益は資産に繰り入れる。	44,184,962		
< 定期預金 >		8,906,190		
熊本市農協中央支店	公2の家畜疾病防疫のための財産であり、運用益は資産に繰り入れる。	8,906,190		
< 普通預金 >		685,406,541		
熊本市農協中央支店	肥育牛交付制度基金事業の公益目的保有財産であり、運用益は資産に繰り入れる。	685,406,541		
< 有価証券 >		389,130,000		
野村証券熊本支店	法人事業に係る資産であり、運用益を管理運用業務に使用している。	110,000,000		
< 定期預金 >		273,470,000		
熊本市農協中央支店		5,660,000		
農林中央金庫熊本支店				
< 特定資産計 >			2,844,670,829	

財 産 目 録

令和5年3月31日現在

公益社団法人熊本県畜産協会

(単位：円)

貸借対照表科目		場所・物量等	使用目的等	金額
その他固定資産	什器備品	電算機 15台	公3事業の公益目的保有財産であり、公1と管理運用業務と共有して使用している。 公3事業の公益目的保有財産であり、公1と管理運用業務と共有して使用している。 公3事業の保有財産であり、その他公益事業、及び管理運用業務等に使用している。 公3事業の公益目的保有財産であり、公1と管理運用業務と共有して使用している。 公益事業、及び管理運用業務等に使用している。	10,302,268
		移動棚 1台		4,573,612
		サーバー 2台		1,064,100
		PC周辺機器 2台		3,769,200
		耐火金庫 2台		572,000
		ソフトウェア		323,356
	長期預け金	(一社)全国肉用牛振興基金協会	公3事業の公益目的保有財産であり、公1と管理運用業務と共有して使用している。	5,793,862
	中央畜産会預け金	(公社)中央畜産会	預け金	9,200,000
	長期未収金			900,000
	什器備品減価償却累計額(△)	電算機 15台		23,161,359
		移動棚 1台		8,901,286
		サーバー 2台		3,614,082
		PC周辺機器 2台		1,064,099
		耐火金庫 2台		3,769,198
貸倒引当金(△)			長期未収金に係る貸倒引当金	21,361,359
<その他固定資産計>				19,094,844
固定資産合計				2,863,765,673
資産合計				3,126,638,346
(流動負債)	雑負債 未払金	その他	補助事業等に係る未払金	111,250,163
			管理業務に係る費用	111,250,163
	預り金	役職員	社会保険料等個人負担分	1,185,288
			肉用子牛事業積立金	14,654,133
	仮受金	生産者積立金等 生産者負担金等	肉用牛肥育経営安定交付金	52,500
			賞与引当金	11,328,932
未払消費税	熊本東税務署	令和4年度事業に係る消費税	4,911,100	
流動負債合計				143,382,116
(固定負債)	退職給付引当金	職員	職員10名に対する退職給付金の引当金	24,388,453
			協会の会員からの預かり寄託金	389,130,000
	預かり寄託金	熊本県		160,000,000
		市町村		22,940,000
	農協及び関係団体		206,190,000	
固定負債合計				413,518,453
負債合計				556,900,569
正味財産				2,569,737,777

令和5年度事業計画

I 地域振興に資する畜産経営体の育成・経営支援及び畜産に関する情報の提供・普及啓発の推進（公益事業1）

(I) 畜産の技術指導に関する事業

1 畜産経営技術高度化推進事業（熊本県受託事業）

(1) 事業の目的

畜産経営に対する経営技術指導及び経営管理における的確な対応を効果的かつ効率的に推進することにより、本県の畜産振興に資する。

(2) 事業の内容

ア 専門家集団の設置

(ア) 構 成 員：熊本県、農業団体等

(イ) 畜産経営及び畜産情勢に関する調査研究、畜産経営技術改善方策及び具体的な指導手法等の検討

(ウ) 常勤専門家集団：総括畜産コンサルタント等 6人

(エ) 非常勤専門家集団：県職員、団体職員、税理士等 11人

イ 地域における相談窓口の設置

(ア) 相談窓口配置数：1か所

(イ) 相談等の内容：畜産経営技術指導、畜産コンサルタントの要請等

ウ 畜産経営に対する支援指導の実施

(ア) 経営改善等支援：経営診断改善指導、経営管理技術指導、生産技術指導等

(イ) セミナー、研修会等の開催

エ 畜産経営関係情報の提供

(ア) ホームページによる畜産経営関係情報の提供

オ 指導用機器・大家畜経営データベースサーバー等経営支援に活用

(ア) 機 械 名：指導用パソコン3台等

2 畜産経営技術指導事業（地方競馬全国協会補助事業）

(1) 事業の目的

県からの委託で実施する畜産経営技術高度化推進事業、県産畜産物振興の各協議会との連携及び中央団体からの畜産関連施策、地方競馬を主とする馬事振興普及啓発等の事業を推進する。

(2) 事業の内容

ア 畜産経営の支援体制強化を図るための事業の推進

イ 地域畜産の活性化、安全かつ安定的な食の提供に資するための事業の推進

ウ 馬事普及啓発の推進体制の強化

3 畜産特別資金推進指導事業（公益社団法人中央畜産会補助事業）

(1) 事業の目的

畜産経営の再建を図るため、新規の畜産特別資金借入者や既存の借入者（66戸令和4年4月1日現在）に対して、経営や生産技術の改善及び融資機関に対し経営改善計画作成指導・計画達成指導を通じ、借入対象者の経営改善安定を図る。

(2) 事業の内容

ア 県支援推進協議会の開催

熊本県畜産経営改善安定推進協議会において指導計画、借入農家の計画・実績等について会議の開催（年4回）

イ 融資機関への指導・助言

融資機関9、指導回数 年24回

ウ 経営改善計画作成・見直し及び達成指導

（単位：戸、回）

	計画作成指導	見直し計画指導	達成指導
指導戸数	5	26	6
指導回数	5	26	6

エ その他推進事務

全国会議 年1回、ヒアリング 年3回

オ 借入者の負債残高等進捗状況調査

融資機関 9、調査戸数 66戸

カ 経営改善の定期的な実績点検調査

上期・下期 年2回 点検戸数 30戸

キ 借入者への指導事項

現地指導 年1回

4 自給飼料推進事業（畜産協会事業）

自給飼料基盤の強化、生産性向上、品質向上、飼料生産の組織化、外部化及び熊本型放牧（広域、周年、水田・畑、耕作放棄地）の普及による草資源の有効利用や農地保全、景観保持を図る取組を行う。

5 地域農場 HACCP 認証支援事業（公益社団法人中央畜産会助成事業）

(1) 事業の目的

県内の農場 HACCP 認証支援の構築、強化・維持及び普及を図る。

(2) 事業の内容

ア 地域農場 HACCP 認証構築指導

県内での農場 HACCP 認定に向け、必要書類の作成や検証等のシステム運営についての助言・指導を行い、地域の中核となる農場を育成することで、地域におけ

る農場 HACCP 認証の普及を図る。
イ 農場 HACCP 普及推進協議会開催

指導農場（計画） 6 農場

農場 HACCP 認証農場関係者等を講師とした検討会を開催し、普及活動に資する。

6 畜産関係団体調整機能強化事業（公益社団法人中央畜産会委託事業）

(1) 事業の目的

県内の畜産農家の支援のため、研修会の開催や窓口相談活動を実施し、本県の畜産振興に資する。

(2) 事業の内容

- ア 専門家派遣の実施
- イ 研修会への参加
- ウ 窓口相談活動の実施

(II) 畜産の経営支援に関する事業

1 肉用牛経営安定対策補完事業（地域における肉用牛生産基盤強化等対策事業） （独立行政法人農畜産業振興機構補助事業）

(1) 事業の目的

肉用牛の生産基盤の安定と強化を図るため、中核的な担い手の育成推進、遺伝的多様性に配慮した繁殖雌牛の導入支援、優良繁殖雌牛の導入支援、繁殖雌牛の増頭に資する簡易牛舎等の整備、高齢化等に対処する肉用牛ヘルパー組織への支援及び地域の特徴ある肉用牛振興対策等を実施する。

(2) 事業の内容

ア 肉用牛生産基盤強化対策

(ア) 優良な繁殖雌牛の増頭による中核的な経営体の育成を支援する。

増頭奨励金は、8 万円／頭と 10 万円／頭（能力の高い牛）

(イ) 遺伝的多様性に配慮した繁殖雌牛の導入を支援する。

導入奨励金は、6 万円／頭、9 万円／頭（稀少系統）

(ウ) 地域の肉用牛改良に必要な優良繁殖雌牛の導入を支援する。

導入奨励金は、4 万円／頭、5 万円／頭（能力の高い牛）

(エ) 繁殖雌牛の増頭に資する簡易牛舎等の整備を支援する。

繁殖雌牛の増頭数に応じた簡易牛舎の整備、又は増築、子牛の健康維持に資する器具機材の導入補助

(オ) 肉用牛ヘルパーの推進を支援する。

肉用牛ヘルパー利用組合が実施する事業に要する補助

イ 地方特定品種等の振興対策

地方特定品種の特徴を活かした生産や放牧利用等を拡大するための取組を支援する。

(ア) あか毛和種の振興

放牧地の利用向上に係る放牧地の整備、飼料生産、粗飼料多給のための飼料生産等の取組への支援

2 畜産・酪農収益力強化整備等特別対策事業（機械導入事業）

（公益社団法人中央畜産会受託事業）

(1) 事業の目的

畜産クラスター事業のうち機械導入事業（リース方式・購入方式）に係る熊本県窓口団体として、関係する事務手続き等を行うことによって、県下各クラスター協議会計画実現と県下地域畜産振興に資する。

(2) 事業の内容

ア 県下各クラスター協議会から要望書・申請書等の受理、確認送付、承認通知等事務を行う。

イ 業務を円滑に行うため、全国推進会議に出席し、県段階の打合せと推進会議を開催する。

ウ 取組主体の一部について、検収調書を基に現地調査を実施する。

3 畜産経営体生産性向上対策事業（ICT化等機械装置等導入事業）

（公益社団法人中央畜産会受託事業）

(1) 事業の目的

酪農・肉用牛経営の生産基盤の強化に資するため、ICT等の新技術を活用した省力化機器の導入を支援するとともに、スマート農業の推進及び労働時間の削減を加速化し、計画的に省力化・生産性向上を図る。

(2) 事業の内容

ア 畜産ICT応援会議から要望書・申請書等の受理、確認送付、承認通知等事務を行う。

イ 業務を円滑に行うため、全国推進会議に出席し、県段階の打合せと推進会議を開催する。

ウ 機械装置の利用状況の確認、労働削減効果を高めるための改善指導等を行う。

エ 必要に応じて中央畜産会からの依頼による現地調査、情報収集、取組による成果等を把握する。

4 熊本型放牧高度化支援事業（放牧牛導入）（国・熊本県補助事業）

(1) 事業の目的

放牧管理の高度化による負担軽減と放牧牛の増頭を支援することで、阿蘇地域の牧野等の畜産的利用の拡大及び放牧を活用したあか牛等の肉用牛生産基盤の強化を図る。

(2) 事業の内容

熊本型放牧拡大のために、農協等の事業主体が放牧実施農家に貸付ける放牧牛（繁殖雌牛）の購入に要する費用の一部を助成する。

放牧牛 100 千円／頭（国 1/2、県 1/2）

5 酪農緊急パワーアップ事業（公益社団法人中央畜産会受託事業）【新規】

(1) 事業の目的

我が国の酪農は、コスト上昇を価格に適切に転嫁できる環境を整える必要があり、需給ギャップの解消及び乳製品在庫の低減や、酪農家による自主的な生産抑制をすることが急務となっている。

このため、脱脂粉乳在庫の低減、乳製品の消費拡大プロモーション、やむを得ず加工仕向けになる生乳に対する補給金相当額の交付、早期乾乳の推進などの取組に併せて先進的機械の導入と一体的な施設整備による酪農経営の体質強化を推進する。

(2) 事業の内容

ア 酪農を営む者に対し、実情に応じた経営体質強化に資する先進的機器の導入と一体的な施設整備を支援

6 畜産・酪農収益力強化整備等特別対策事業（生産基盤拡大加速化事業（肉用牛）） （一般社団法人全国肉用牛振興基金協会受託事業）

(1) 事業の目的

輸出の拡大に向けて和牛の増産を推進するため、畜産クラスター計画に基づき、取組主体の構成員が優良な繁殖雌牛を増頭し、輸出に適した和牛肉の増産を図る。

(2) 事業の内容

令和5年1月1日を基準とし令和5年12月31日に増頭した生後9か月齢以上の和牛繁殖雌牛で、育種価基準を満たす牛を対象として増頭奨励金を交付する。

ア 繁殖雌牛増頭

(ア) 取組主体の構成員による繁殖雌牛の増頭及び和牛肉の増産のための「増産計画」の策定

(イ) 取組主体の構成員が、繁殖雌牛を増頭した場合における増頭実績に応じた奨励金の交付（24.6万円以下/頭（期首飼養頭数50頭以上の場合17.5万円以下/頭））

イ 事業推進

事業実施計画に基づき、取組主体が行う事業を円滑に推進する。

7 肉用牛経営安定対策補完事業（強化哺乳技術を活用した早期出荷支援事業） （独立行政法人農畜産業振興機構補助事業）【新規】

(1) 事業の目的

強化哺乳技術の活用等の取組を推進し、肉用子牛の発育の向上及び家畜市場への早期出荷を図る。

(2) 事業の内容

ア 早期出荷支援対策

強化哺乳技術の活用等の取組を実施した肉用子牛生産者に対して、家畜市場への出荷頭数に応じた奨励金を交付する。

(奨励金単価：6千円/頭)

8 畜産経営総合緊急対策事業（肉用牛経営災害緊急支援対策事業）

(独立行政法人農畜産業振興機構補助事業)【新規】

(1) 事業の目的

災害等による停電時における家畜の生命維持に要する機械の稼動のための支援を行うことにより、畜産経営体の経営継続を目的とする。

(2) 事業の内容

生産者集団等が災害等による停電時における畜産経営体の経営継続のため、家畜の生命維持に要する機械の稼動のための次に掲げる取組の実施に要する経費への支援。

ア 経営継続支援対策

(ア) 牛舎、飼養管理の附帯施設・機械の補改修等に要する経費

(イ) 簡易牛舎等の整備に要する経費

(ウ) 緊急避難等支援に要する経費

(エ) 繁殖に供する雌牛の導入支援に要する経費

(オ) 電力確保支援

イ 非常用電源の整備

(ア) 非常用電源の導入

(イ) リース事業者からの非常用電源の借受

(Ⅲ) 畜産に関する調査研究及び情報提供に関する事業

1 公庫資金活用推進事業（公益社団法人中央畜産会受託事業）

(1) 事業の目的

畜産農家が公庫資金を活用し、安定的な経営展開に資する。

(2) 事業の内容

公庫資金を借入した畜産経営体の中で、借入時の経営計画の達成が低い経営体について、経営課題、経営改善状況等を調査し、その改善計画の作成支援及びこれに基づく助言等を行う。

2 貸付事業指導等事業（公益財団法人畜産近代化リース協会受託事業）

(1) 事業の目的

畜産近代化リース協会貸付事業において、貸し付けられた機械施設の適正な導入の確認と効率的な活用を図るための指導等を行い、同事業を推進する。

(2) 事業の内容

ア 貸付機械施設の確認及び管理状況についての調査

イ 貸付機械施設の適正な利用についての技術指導

3 畜産クラスター全国推進事業に係る実態調査事業

(公益社団法人中央畜産会受託事業)

公益社団法人中央畜産会が実施する畜産クラスター全国推進事業に資するため、本県酪農家・肉用牛繁殖農家及び肥育農家の優良事例9戸の実態調査を行い、中央畜産会に報告する。

4 家族経営における畜産DX推進事業（畜産DX技術調査分析評価事業）

(公益社団法人中央畜産会受託事業)

(1) 事業の目的

畜産経営における生産性の向上や労働力負担の軽減等に向けて、ITやAI（人工知能）技術を活用した畜産のデジタルトランスフォーメーション（畜産DX）を推進し、畜産DX技術導入の経済的効果等の評価手法を確立し、家族経営における効率的な導入を支援することを目的とする。

(2) 事業内容

畜産DX技術を複合的・戦略的に導入し、相互に関連付ける中で成果を挙げている畜産経営に対し、以下の調査・研究を行う。

ア 畜産経営コンサルティング

イ 労働生産性の分析

ウ 畜産物の生産性の分析

エ 経営に携わる人の心の分析

5 生産技術情報提供事業（公益社団法人中央畜産会受託事業）

家畜の生産技術指導に資する情報を整備するため、家畜の生産・出荷成績等のデータの収集及び収集したデータの分析結果に基づく助言指導を行い、中央畜産会に報告する。計画件数：繁殖経営 20 件

II 国民生活の安全安心に資する家畜衛生対策の推進（公益事業2）

（I）家畜伝染性疾病の予防接種及び予防措置に関する事業

1 家畜生産農場衛生対策事業（国補助事業）

（1）事業の目的

畜産経営に及ぼす影響が大きい家畜伝染病について、予防接種や抗体検査及び患畜同居家畜の自主とう汰への補助を実施することにより、家畜伝染病の予防、またはまん延防止を図る。

（2）事業の内容

ア ヨーネ病早期清浄化防疫推進事業

ヨーネ病自主とう汰

イ EBL対策事業

高リスク牛とう汰

ウ BVD-MD対策事業

PI牛自主とう汰

エ 地域慢性疾病対策事業

オ 疾病流行防止支援対策事業

牛異常産ワクチン接種計画 41,350 頭

2 牛疾病検査円滑化推進対策事業（国補助事業）

（1）事業の目的

BSEの発生予防と清浄化確認のため、県が実施する死亡牛BSE検査及び蛋白質ミール公社での死亡牛適正処理の農家負担を補助する。

（2）事業の内容

死亡牛発生見込頭数と補助対象金額

（単位：頭・円）

区分	見込頭数	補助計画頭数	検査処理安定化対策		検査支援	合計
			輸送促進費	適正処理費	BSE検査費	
96ヶ月以上	1,000	1,000	1,650,000	7,500,000	4,500,000	13,650,000

3 熊本県自衛防疫強化総合対策事業（熊本県補助事業）

（1）事業の目的

畜産経営に及ぼす影響が大きい家畜伝染病について、予防接種を実施する。

（2）事業の内容

ア 特定疾病損耗防止推進事業 100,000 頭

牛流行性感冒、牛伝染性鼻気管炎、牛アカバネ病の発生予防

4 育成馬等予防接種推進事業（公益社団法人中央畜産会補助事業）

(1) 事業の目的

馬伝染病予防のため、馬飼養農家の申請により予防接種を実施する。

(2) 事業の内容

(単位：頭)

区 分	接種頭数	備 考
1 歳馬三種基礎接種	70	2 回接種
1 歳馬三種補強接種	0	
1 歳馬インフルエンザ追加接種	5	
2 歳馬日本脳炎補強接種	5	
合 計	80	

5 馬伝染性疾病防疫推進対策事業（公益社団法人中央畜産会補助事業）

(1) 事業の目的

馬伝染病予防のため、馬飼養農家の申請により予防注射を実施する。

(2) 事業の内容

ア 馬鼻肺炎生ワクチン 30 頭

イ 馬インフルエンザ 290 頭

6 家畜自衛防疫活動支援事業（畜産協会事業）

(1) 事業の目的

各地区家畜自衛防疫促進協議会が取り組む家畜衛生事業推進の支援を行う。

(2) 事業の内容

各地区家畜自衛防疫促進協議会が実施する次の取組について支援する。

ア 家畜衛生事業の推進に必要な防疫機器・資材等の整備

イ 家畜衛生事業に係る事務の効率化を図るための備品等の整備

ウ 協会が適当と認める取組

(Ⅱ) 畜産物の生産・衛生の指導及び調査に関する事業

1 自衛防疫推進事業（熊本県補助事業）

(1) 事業の目的

家畜自衛防疫事業について、市町村及び関係団体と連携して実施する。

(2) 事業の内容

ア 家畜自衛防疫事業推進会議 年 2 回

イ 地域推進会議 5 か所（各地区家畜自衛防疫促進協議会）

ウ 事業需要等調査、広報

2 馬飼養衛生管理特別対策事業（公益社団法人中央畜産会補助事業）

(1) 事業の目的

馬の飼養農家や指導者の衛生管理技術の向上のため、関係者に対し講習会や調査を行う。

(2) 事業の内容

- ア 地域馬飼養衛生管理体制整備委員会の開催
- イ 馬飼養衛生管理技術講習会の開催
- ウ 地域馬獣医療実態調査

3 家畜防疫・衛生指導対策事業（公益社団法人中央畜産会補助事業）

(1) 事業の目的

地域の自衛防疫活動強化のため、行政・関係機関と連携し、防疫演習等を実施及び事業の円滑な推進のため、各県畜産協会と情報交換する。

(2) 事業の内容

- ア 生産者段階の「防疫演習」の実施支援
- イ 九州ブロック協議会の開催

(Ⅲ) 家畜伝染性疾病の予防徹底のための経営支援に関する事業

1 家畜防疫互助基金支援事業（公益社団法人中央畜産会委託事業）

(1) 事業の目的

家畜伝染病発生時の伝染病まん延防止のための家畜の淘汰とこれに伴う農家経営再建のため、農畜産業振興機構と農家が拠出した基金から、交付金を交付する。

(2) 事業の内容

- ア 家畜防疫互助等推進事業
 - (ア) 推進会議開催
 - (イ) 生産者等に対する事業の普及・指導・連絡調整
- イ 家畜防疫互助事業
 - (ア) 新規加入の推進（事業対象年間 令和3～5年度）

加入状況表（令和5年1月末現在）

家畜の種類	飼養戸数	加入戸数	加入率	積立金額(円)
乳用牛	491 戸	478 戸	97%	9,284,695
肉用牛	2,093 戸	1,794 戸	86%	22,153,745
養豚	152 戸	99 戸	65%	41,807,400
計	延 2,736 戸	延 2,371 戸	87%	73,245,840

* 飼養戸数は県畜産統計（R4・2・1）

(IV) 畜産経営の環境保全に関する事業

1 畜産環境保全指導事業（畜産協会事業）

(1) 事業の目的

畜産経営や地域の環境保全を目的として、畜産農家や関係者に対して、セミナー等を行う。

(2) 事業の内容

熊本県耕畜連携推進協議会事務局員として、以下に取り組む。

ア 堆肥づくりスキルアップセミナー

イ 堆肥コンクール

(V) 獣医師等の育成支援に関する事業

1 獣医師養成確保修学資金給付事業（国及び熊本県補助事業）

(1) 事業の目的

家畜伝染病の予防・まん延防止や食品衛生を担う産業動物獣医師や行政獣医師の育成を目的として、獣医学を専攻する学生に修学資金を貸与する。

(2) 事業の内容

ア 産業動物獣医師及び県家畜保健衛生所等獣医師の養成

18名（継続12名 新規6名）

イ 県公衆衛生獣医師の養成

4名（継続3名 新規1名）

Ⅲ 国民生活の物価安定に資する畜産物価格安定対策の推進（公益事業3）

（Ⅰ）肉用子牛の価格差補てんに関する事業

1 肉用子牛生産者補給金制度（業務対象年間 令和2～6年度）

（独立行政法人農畜産業振興機構及び熊本県補助事業）

（1）事業の目的

肉用子牛の価格が低迷し、保証基準価格を下回った場合に、生産者に対し生産者補給金を交付し、肉用子牛の生産の安定等を図ることを目的とする。

（2）事業の内容

ア 補給金制度に基づく加入者、加入頭数の促進

イ 保証基準価格・合理化目標価格及び生産者積立金の額

保証基準価格・合理化目標価格（単位：円）

品種区分	保証基準価格	合理化目標価格
黒毛和種	556,000	439,000
	(541,000)	(429,000)
褐毛和種	507,000	400,000
	(498,000)	(395,000)
その他の肉専用種	325,000	256,000
	(320,000)	(253,000)
乳用種	164,000	110,000
	(164,000)	(110,000)
乳交雑種	274,000	216,000
	(274,000)	(216,000)

※上段は令和5年4月1日からの価格、下段（ ）内は令和5年3月31日までの価格

契約肉用子牛1頭当たりの負担金（生産者積立金の額）（単位：円）

品種区分	生産者負担金	生産者積立助成金		生産者積立金
	生産者(1/4)	機構(1/2)	県(1/4)	
黒毛和種	400	800	400	1,600
褐毛和種	1,500	3,000	1,500	6,000
その他の肉専用種	4,700	9,400	4,700	18,800
乳用種	1,700	3,400	1,700	6,800
乳交雑種	800	1,600	800	3,200

個体登録計画頭数 (単位：頭)

品種区分	計画頭数
黒毛和種	28,266
褐毛和種	4,179
その他の肉専用種	2
乳用種	527
乳交雑種	8,704
合計	41,678

2 肉用子牛生産者補給金制度運営体制整備強化事業 (独立行政法人農畜産業振興機構補助事業)

(1) 事業の目的

肉用牛生産者補給金制度に係る業務の適切かつ円滑な実施体制の確保及び肉用生産者補給金の交付事務処理の高度化を図ることを目的とする。

(2) 事業の内容

ア 肉用子牛生産者補給金制度運営適正化事業

肉用子牛生産者補給金制度運営適正化のために次の項目の充実を図る。

- (ア) 肉用子牛の個体識別と個体登録
- (イ) 肉用子牛の販売、保留及び異動確認
- (ウ) 家畜市場データの収集、整理、送信、集計、分析
- (エ) 電算処理システムの整備
- (オ) 業務推進会議の開催
- (カ) 現地調査指導など

イ 指定協会運営体制支援事業

肉用子牛生産者補給金制度の円滑な推進を図り、肉用子牛生産の安定並びに肉用牛経営の安定的発展に資する。

ウ 肉用子牛の取引状況の調査報告

指定肉用子牛の取引結果を算出するため、県内指定市場を対象に出荷子牛の日齢・体重・取引価格等について調査し、その結果を農畜産業振興機構に報告する。

また、電算処理による分析に基づき「熊本県の肉用子牛市場調査」として取りまとめ、関係機関、団体等に配布する。

本県の指定家畜市場 3ヶ所 (熊本県・球磨・天草)

3 和子牛生産者臨時経営支援事業(独立行政法人農畜産業振興機構補助事業)【新規】

(1) 事業の目的

令和4年5月に急落した子牛価格は回復傾向にあるものの、価格が堅調に推移するまでの間、和子牛生産者のセーフティネットを臨時的に措置し、肉用子牛生産基盤の安定を図ることを目的とする。

(2) 事業の内容

市場等で取引される和子牛のブロック別※平均売買価格が、発動基準を下回った場合に、当該平均売買価格と発動基準の差額の4分の3を支援する。

品種区分	発動基準
黒毛和種	60万円
褐毛和種	55万円
その他の肉専用種	35万円

※ 黒毛和種は、北海道、東北、本州関東以西・四国、九州・沖縄の4ブロック、褐毛和種及びその他肉専用種は、全国1ブロック

(II) 肉用牛肥育経営の所得補てんに関する事業

1 肉用牛肥育経営安定交付金制度(事業対象期間:令和4年度~令和6年度)

(独立行政法人農畜産業振興機構受託事業)

(1) 肉用牛肥育経営安定交付金制度業務

ア 事業の目的

肉用牛肥育経営安定交付金制度に係る業務の円滑な実施を図るため、機構から事務を受託し、制度の普及及び交付に係る申請事務等の業務を実施する。

イ 令和5年度の実施計画

(ア) 契約者数: 280戸

(イ) 個体登録予定頭数

(単位:頭)

品種区分	肉専用種	交雑種	乳用種	計
頭数	22,000頭	13,000頭	1,000頭	36,000頭

(2) 肉用牛肥育経営安定制度

ア 事業の目的

交付契約を締結した生産者に対して、肥育牛補填金の交付に要する資金として、肥育安定基金を造成し、標準的販売価格が標準的生産費を下回った場合、差額の9割を機構の交付金と併せて交付する。

イ 令和5年度の契約肥育牛1頭当たりの生産者負担金の単価(熊本県)

令和5年3月に公表予定

IV 畜産経営の安定に資する家畜の改良・登録の推進（その他事業1）

（I）登録事業

黒毛和種、褐毛和種、種豚、農用馬の登録・登記の実施。登録・登記は、家畜の改良増殖の基礎であり、関係機関の協力を得てその必要性を周知徹底し推進に努め、体型・肉質の優れた系統の選抜並びに増頭に取り組むと共に下記の頭数を目標とする。

（単位：名、頭）

畜種	登録・登記の種類	予定数
黒毛和種	会 員	1,600
	高等登録	50
	本原登録	900
	基本登録	2,800
	子牛登記	22,000
褐毛和種	会 員	670
	育種高等登録	7
	高等登録	7
	産肉登録	5
	繁殖登録	770
	子牛登記	4,200
種 豚	種豚登録	350
	子豚登記	80
	交雑証明	40
農 用 馬	繁殖登録	22
	血統登録	120
	補助血統登録	0

※黒毛和種については、公益社団法人全国和牛登録協会熊本県支部、褐毛和種については、一般社団法人日本あか牛登録協会の事業として実施。

(II) 改良事業

1 改良推進事業

国・県並びに県連等が推進する改良増殖諸事業に積極的に参画し、本県家畜の改良増殖の促進に努める。

2 養豚振興事業

登録事業を推進する。

3 農用馬振興事業

農用馬の生産率向上を図るため種雄馬管理指導を行うとともに、人工授精利用等繁殖技術の向上に努める。

4 集団活動への支援

各地域における改良組合、グループ活動に対して協力する。

5 共進会、品評会

県内で開催される各種共進会、品評会の上位入賞家畜を表彰し、会員の改良意欲の高揚に努める。

6 第13回全国和牛能力共進会への対応

令和9年に北海道で開催される第13回全国和牛能力共進会に向けて、関係機関と連携して取組みを進める。

V 会員や関係団体と連携した畜産振興の推進（その他事業2）

各種協議会の事務局並びにイベントへの職員派遣や、行政と団体間との調整役を果たすこと等により、県畜産の生産振興や県産畜産物のPRと消費拡大に寄与する。

1 熊本県産牛肉消費拡大推進協議会事業

（熊本県産牛肉消費拡大推進協議会受託事業）

熊本県産牛肉消費拡大推進協議会の事務局事務を実施する。

※熊本県産牛肉消費拡大推進協議会

目的：県内畜産関係団体の相互協調により、熊本県産牛肉の流通・消費拡大を図り、熊本県畜産の安定的発展に寄与することを目的とする。

会員：熊本県、県経済連、県畜連、県酪連、県食肉事業連

肥後開拓農協、畜産流通センター、県農協中央会、県畜産協会

2 熊本県養豚協会事業（熊本県養豚協会受託事業）

熊本県養豚協会の事務局事務を実施する。

※熊本県養豚協会

正会員：県内養豚農家等 71 会員

賛助会員：養豚関係団体等 43 会員

役員：石渕大和会長以下、理事 1 2 名、監事 2 名

事業：養豚経営の調査研究及び講習会等

養豚の情報収集及び提供

関係機関、団体との連絡協調

3 馬事畜産振興推進事業

佐賀競馬場に於いて、冠レースを実施し賞状・副賞を授与する。また BA00 荒尾に於いて、畜産フェアを開催し入場者の増加と畜産振興に資する。

収支予算書

公益社団法人 熊本県畜産協会
全会計

令和 05年04月01日から 令和 06年03月31日まで

(単位：円)

科 目	予 算 額	前年度予算額	増 減
I 一般正味財産増減の部			
1. 経常増減の部			
(1) 経常収益			
特定資産運用益(計)	199,200	91,200	108,000
特定資産受取利息	1,200	1,200	
預かり寄託金運用利息	198,000	90,000	108,000
受取会費(計)	10,784,000	10,784,000	
正会員受取会費	10,784,000	10,784,000	
事業収益(計)	249,464,842	255,216,122	△ 5,751,280
受取生産者補給金事務負担金	12,503,400	12,596,400	△ 93,000
受取予防接種負担金	223,858,955	223,858,955	
受取種豚事業収益	636,589	636,589	
受取改良事業収益・証明料	440,000	440,000	
受取肉用牛肥育経営安定事務負担	9,969,898	13,628,178	△ 3,658,280
受取農用馬事業収益	56,000	56,000	
受取事務負担金	2,000,000	4,000,000	△ 2,000,000
受取補助金(計)	858,405,890	705,222,378	153,183,512
国受取補助金(計)	44,846,000	44,846,000	
受取家畜生産農場衛生対策事業	14,405,000	14,405,000	
受取牛疾病検査円滑化推進対策事業	16,997,000	16,997,000	
受取獣医師養成修学資金貸与(国)	13,444,000	13,444,000	
機構受取補助金(計)	757,451,263	604,132,108	153,319,155
受取機構生産者補給交付金	32,320,000	106,661,000	△ 74,341,000
受取補給金運営適正事業補助金	25,787,157	25,584,057	203,100
受取運営体制支援事業補助金	17,270,446	17,019,813	250,633
受取肉用牛経営安定対策補完事業	70,722,995	70,732,309	△ 9,314
受取強化哺乳活用早期出荷事業	19,140,665		19,140,665
受取優良肉用子牛生産推進等事業		162,412,429	△ 162,412,429
受取和子牛生産者臨時経営支援	250,110,000		250,110,000
受取機構肥育牛交付制度交付金	342,000,000	221,722,500	120,277,500
受取肉用牛経営災害緊急支援対策	100,000		100,000
熊本県補助事業(計)	28,104,000	28,104,000	
受取自衛防疫推進費	544,000	544,000	
受取特定疾病損耗防止推進事業	3,600,000	3,600,000	
受取獣医師養成就学資金貸与(県)	19,460,000	19,460,000	
受取熊本型放牧支援事業補助金	4,500,000	4,500,000	
中央畜産会(計)	10,960,627	11,096,270	△ 135,643
受取畜産特別資金推進指導事業	4,009,744	4,147,916	△ 138,172
受取育成馬予防接種推進事業費	346,600	346,600	
受取馬飼養衛生管理特別対策事業	584,000	584,000	
受取馬伝染性疾病防疫対策事業	1,381,000	1,381,000	
受取家畜防疫・衛生指導対策事業	1,515,837	1,513,308	2,529
受取地域農場HACCP認証支援事業	3,123,446	3,123,446	
地方競馬全国協会(計)	16,924,000	16,924,000	
受取畜産経営技術指導事業	16,924,000	16,924,000	
日本馬事協会(計)	120,000	120,000	
受取日本馬事協会	120,000	120,000	
受託事業収益(計)	90,365,896	90,612,482	△ 246,586
機構受託事業(計)	15,325,308	15,228,000	97,308
受取肉用牛肥育経営安交付金制度	15,325,308	15,228,000	97,308
全国肉用牛振興基金協会受託事業(計)	4,340,483	4,316,800	23,683
受取生産基盤拡大加速化事業委託	4,340,483	4,316,800	23,683
熊本県受託事業(計)	5,830,000	5,830,000	
受取畜産経営技術高度化推進事業	5,830,000	5,830,000	
中央畜産会(計)	21,698,598	20,836,963	861,635
受取公庫資金活用推進事業	80,000	80,000	
受取労働負担軽減事業(楽酪GO)		611,000	△ 611,000
受取酪農緊急ハローアップ事業	611,000		611,000
受取畜産関係団体機能強化事業	2,400,000	2,300,000	100,000
受取畜産クラスター実態調査事業	720,000	720,000	
受取畜産クラスター機械導入事業	9,413,635	8,562,000	851,635

収支予算書

令和 05年04月01日から 令和 06年03月31日まで

公益社団法人 熊本県畜産協会
全会計

(単位:円)

科 目	予 算 額	前年度予算額	増 減
受取生産技術情報提供事業	1,726,000	1,726,000	
受取畜産ICT事業	1,038,000	1,038,000	
受取畜産DX推進事業	2,310,000	2,400,000	△ 90,000
受取家畜防疫互助推進事業	3,399,963	3,399,963	
日本あか牛登録協会(計)	3,189,032	3,167,481	21,551
受取日本あか牛登録事務委託費	3,189,032	3,167,481	21,551
日本あか牛登録協会熊本県支部(計)	6,216,895	6,166,300	50,595
受取日本あか牛登録県支事委託費	6,216,895	6,166,300	50,595
全国和牛登録協会熊本県支部(計)	31,289,580	32,590,938	△ 1,301,358
受取全国和牛登録県支部委託費	31,289,580	32,590,938	△ 1,301,358
馬事畜産振興協議会(計)	480,000	480,000	
受取馬事畜産振興推進事業	480,000	480,000	
畜産近代化リース協会(計)	1,996,000	1,996,000	
受取貸付事業指導等事業	1,996,000	1,996,000	
その他事業収入(計)	1,704,531	1,650,303	54,228
受取県産牛肉消費拡大推進協議会	722,000	722,000	
受取熊本県養豚協会事務費	982,531	928,303	54,228
受取積立金(計)	114,000,000	73,907,500	40,092,500
受取積立金振替額	114,000,000	73,907,500	40,092,500
雑 収 益(計)	1,060,000	1,270,000	△ 210,000
受 取 利 息	940,000	840,000	100,000
雑 収 益	120,000	430,000	△ 310,000
経常収益計	1,325,984,359	1,138,753,985	187,230,374
(2)経常費用			
事業費(計)	1,314,936,833	1,128,192,196	186,744,637
支払補てん金	736,200,000	402,291,000	333,909,000
支払助成金	162,802,769	306,178,769	△ 143,376,000
役員報酬	3,890,358	3,826,494	63,864
給料手当	124,194,756	124,345,609	△ 150,853
臨時雇賃金	3,586,239	5,081,917	△ 1,495,678
退職給付費用	3,166,600	3,757,673	△ 591,073
福利厚生費	21,070,167	20,234,009	836,158
会議費	698,400	663,150	35,250
旅費交通費	6,220,106	6,562,485	△ 342,379
通信運搬費	3,230,602	3,280,902	△ 50,300
減価償却費	2,323,928	2,507,757	△ 183,829
消耗品費	137,868,668	138,264,923	△ 396,255
印刷製本費	1,727,958	1,988,801	△ 260,843
図書資料費	3,000	3,000	
燃料費	200,000	200,000	
車 輛 費	140,000	140,000	
光熱水料費	210,000	210,000	
賃借料	8,805,904	8,634,154	171,750
諸 謝 金	556,100	586,100	△ 30,000
租 税 公 課	9,598,679	9,898,150	△ 299,471
支払負担金	1,553,000	1,553,000	
役 務 費	1,451,278	1,451,278	
厚 生 費	225,000	215,000	10,000
報 償 費	305,000	305,000	
送金手数料	580,501	482,017	98,484
広 報 費	460,000	460,000	
雑 費	498,700	499,788	△ 1,088
検 査 費	2,149,620	2,149,620	
技 術 料	76,879,400	76,879,400	
委 託 費	4,340,100	5,542,200	△ 1,202,100
管 理 費(計)	6,603,588	4,924,655	1,678,933
人 件 費(計)	3,308,481	1,566,009	1,742,472
役員報酬	147,637	72,501	75,136
給料手当	1,868,020	742,509	1,125,511
賞与引当金繰入額	350,000	350,000	
退職給付費用	196,260	265,740	△ 69,480
福利厚生費	746,564	135,259	611,305

収支予算書

令和 05年04月01日から 令和 06年03月31日まで

公益社団法人 熊本県畜産協会
全会計

(単位: 円)

科 目	予 算 額	前年度予算額	増 減
会 議 費(計)	50,000	50,000	
会 議 費	50,000	50,000	
事 務 費(計)	964,107	1,060,646	△ 96,539
旅 費 交 通 費	450,000	450,000	
通 信 運 搬 費	133,000	133,000	
什器備品減価償却費	241,107	337,646	△ 96,539
消 耗 品 費	140,000	140,000	
そ の 他 経 費(計)	2,281,000	2,248,000	33,000
印 刷 製 本 費	90,000	112,000	△ 22,000
図 書 資 料 費	70,000	77,000	△ 7,000
光 熱 水 料 費	200,000	200,000	
賃 借 料	855,000	855,000	
諸 謝 金	210,000	225,000	△ 15,000
租 税 公 課	12,000	20,000	△ 8,000
支 払 負 担 金	230,000	230,000	
役 務 費	154,000	14,000	140,000
厚 生 費	135,000	170,000	△ 35,000
交 際 渉 外 費	20,000	20,000	
送 金 手 数 料	65,000	65,000	
雑 費	240,000	260,000	△ 20,000
経 常 費 用 計	1,321,540,421	1,133,116,851	188,423,570
評価損益等調整前当期経常増減額	4,443,938	5,637,134	△ 1,193,196
当期経常増減額	4,443,938	5,637,134	△ 1,193,196
2.経常外増減の部			
(1)経常外収益			
受取返還金(計)		250,000	△ 250,000
受 取 返 還 金		250,000	△ 250,000
受取積立金振替額(計)	700,000	700,000	
受取積立金振替額	700,000	700,000	
経 常 外 収 益 計	700,000	950,000	△ 250,000
(2)経常外費用			
その他の経費(計)	81,000	81,000	
租 税 公 課	81,000	81,000	
支 払 返 戻 金(計)	700,000	950,000	△ 250,000
支払積立準備金返還金	700,000	700,000	
支払補助金返還金		250,000	△ 250,000
経 常 外 費 用 計	781,000	1,031,000	△ 250,000
当期経常外増減額	△ 81,000	△ 81,000	0
他会計振替前当期一般正味財産増減額	4,362,938	5,556,134	△ 1,193,196
他会計振替額	0	0	0
当期一般正味財産増減額	4,362,938	5,556,134	△ 1,193,196
一般正味財産期首残高	162,911,869	162,911,869	0
一般正味財産期末残高	167,274,807	168,468,003	△ 1,193,196
II 指定正味財産増減の部			
受 取 補 助 金(計)	76,330,200	79,618,800	△ 3,288,600
受取機構生産者積立金補助金	50,886,800	53,079,200	△ 2,192,400
受取県生産者積立金補助金	25,443,400	26,539,600	△ 1,096,200
受 取 積 立 金(計)	678,900,918	679,184,479	△ 283,561
受取生産者積立金	9,504,918	9,788,479	△ 283,561
受取肥育牛交付制度生産者負担金	669,396,000	669,396,000	
特定資産運用益(計)	41,500	41,500	
特定資産受取利息	34,200	34,200	
生産者受取利息	7,300	7,300	
他会計からの繰入額(計)	15,938,482	16,751,121	△ 812,639
生産者積立準備金からの繰入額	15,938,482	16,751,121	△ 812,639

収支予算書

令和 05年04月01日から 令和 06年03月31日まで

公益社団法人 熊本県畜産協会
全会計

(単位：円)

科 目	予 算 額	前年度予算額	増 減
一般正味財産への振替額(計)	△ 114,700,000	△ 74,607,500	△ 40,092,500
一般正味財産への振替額	△ 114,700,000	△ 74,607,500	△ 40,092,500
他会計への繰出額(計)	△ 15,938,482	△ 16,751,121	812,639
生産者積立金への繰出額	△ 15,938,482	△ 16,751,121	812,639
当期指定正味財産増減額	640,572,618	684,237,279	△ 43,664,661
指定正味財産期首残高	2,071,445,068	2,071,445,068	0
指定正味財産期末残高	2,712,017,686	2,755,682,347	△ 43,664,661
Ⅲ 正味財産期末残高	2,879,292,493	2,924,150,350	△ 44,857,857